

人文科学・社会科学系の学部学生における 大学院進学の意向調査

令和5年12月
文部科学省高等教育局

調査概要

1. 目的

人文科学・社会科学系の学部4年次の学生の大学院進学に対する意向について、理学・工学・農学系の学生との比較を含めて分析し、人文科学・社会科学系の大学院教育改革の方向性の検討に活用する。

2. 調査対象

➤ 人文科学・社会科学系：

大学院大学を除く国公私立大学のうち、人文科学系、社会科学系の大学院（専攻）を設置している 289 大学（国立 31 校、公立 24 校、私立 234 校）における、人文科学系、社会科学系の学部・学科に所属する 4 年次以上の学生（推定約 24 万人（入学定員ベース））

➤ 理学・工学・農学系：

「人文科学・社会科学系の学部学生における大学院進学の意向調査」の対象となっている大学から無作為に抽出した 100 大学のうち、理学系、工学系、農学系の学部・学科を持つ 27 大学（国立 8 校、公立 2 校、私立 17 校）における、理学系、工学系、農学系の学部・学科に所属する 4 年次以上の学生（推定約 1.8 万人（入学定員ベース））

3. 調査方法

大学ごとに個別のアンケートフォームを作成し、各大学を通じて対象学生にインターネット上からのアンケート回答を依頼。

4. 調査期間

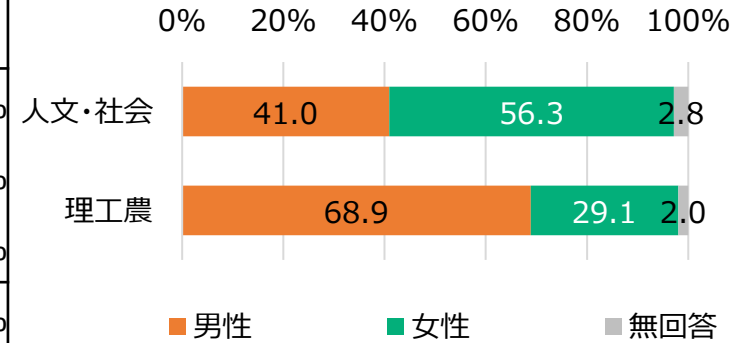
令和 5 年 5 月 30 日～ 7 月 21 日

回答数、性別

人文科学・社会科学は13,173人、理学・工学・農学は2,792人の学生から回答が得られた。

	人文・社会科学				理学・工学・農学			
	大学数	対象学部の 入学定員	回答数	回答率	大学数	対象学部の 入学定員	回答数	回答率
国立	31	16,624	2,458	14.8%	8	7,672	1,558	20.3%
公立	24	8,222	597	7.3%	2	882	81	9.2%
私立	234	217,748	10,118	4.6%	17	9,322	1,153	12.4%
計	289	242,594	13,173	5.4%	27	17,876	2,792	15.6%

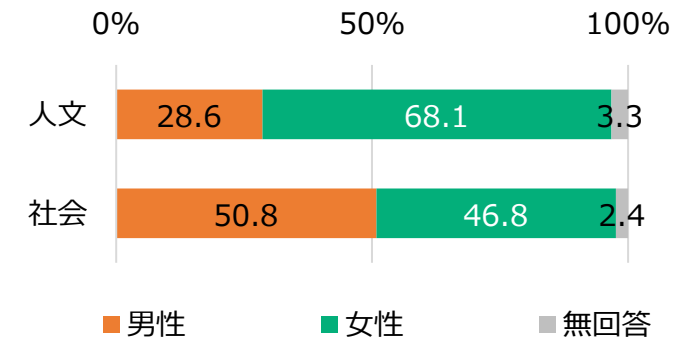
○回答者の性別



人文科学・社会科学について、学校基本調査における学部コードに基づき人文科学と社会科学に分類したところ、人文科学では5,850人、社会科学では7,323人から回答があった。

	人文科学				社会科学			
	大学数	対象学部の 入学定員	回答数	回答率	大学数	対象学部の 入学定員	回答数	回答率
国立	20	5,174	1,217	14.8%	27	11,450	1,241	10.8%
公立	11	2,798	283	7.3%	19	5,424	314	5.8%
私立	166	66,047	4,350	4.6%	188	151,701	5,768	3.8%
計	197	74,019	5,850	7.9%	234	168,575	7,323	4.3%

○回答者の性別

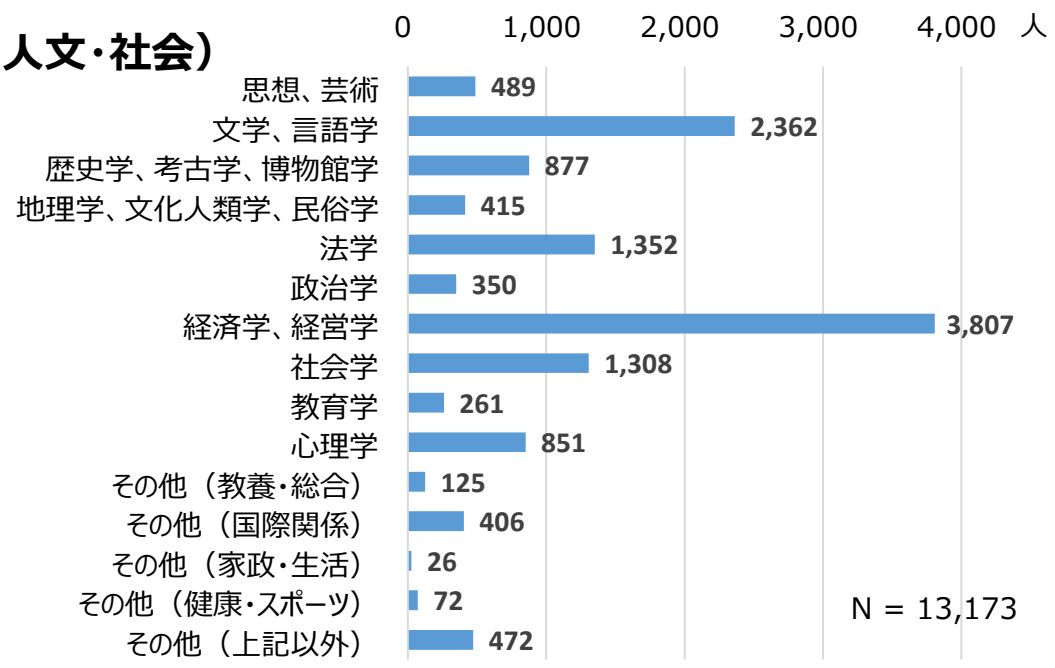


【全員が回答】

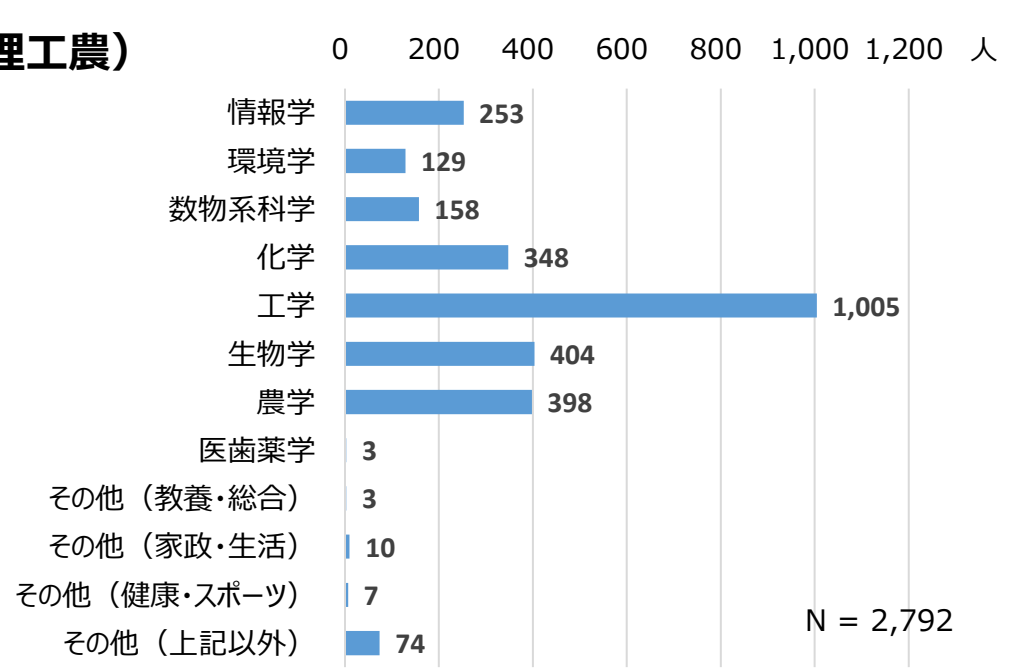
在籍する学部・学科の分野

人文科学系では文学・言語学、社会科学系では経済学・経営学、理学・工学・農学系では工学を学ぶ学生からの回答が多い。

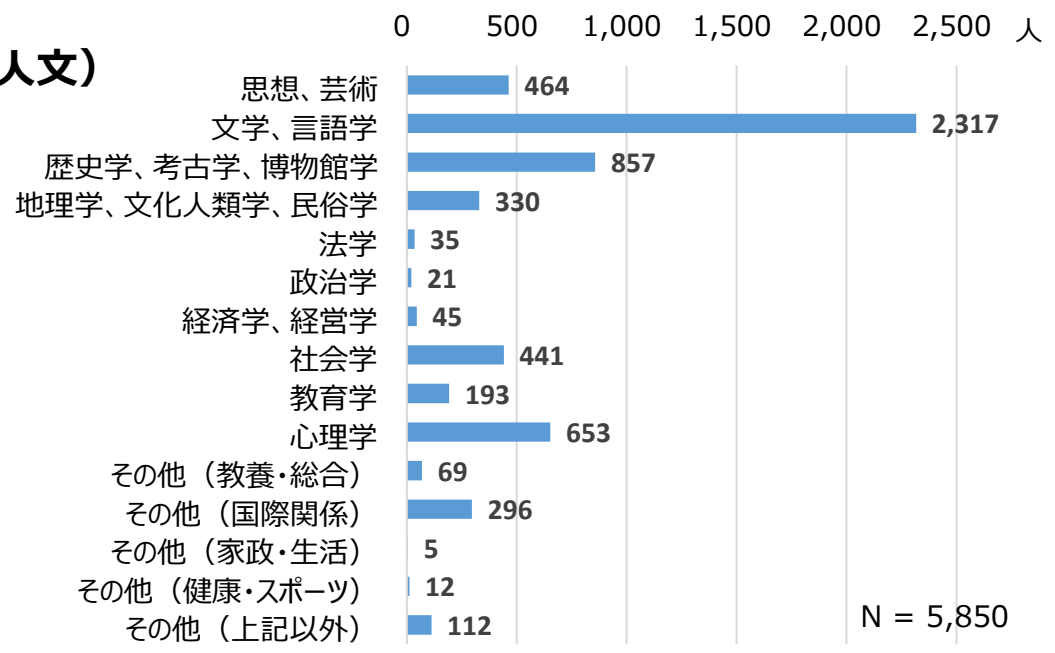
(人文・社会)



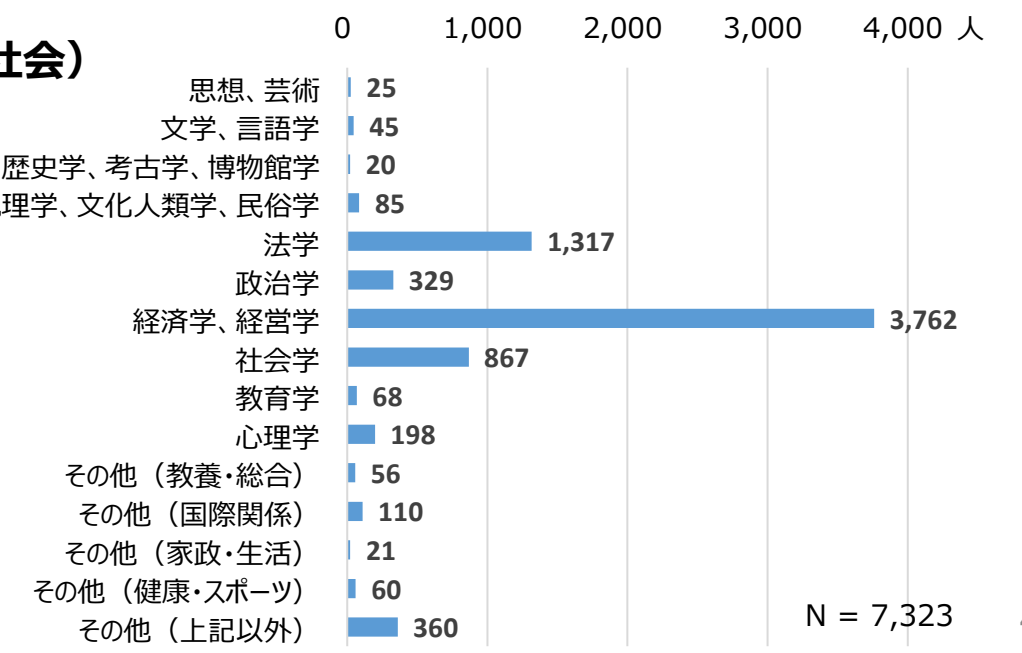
(理工農)



(人文)



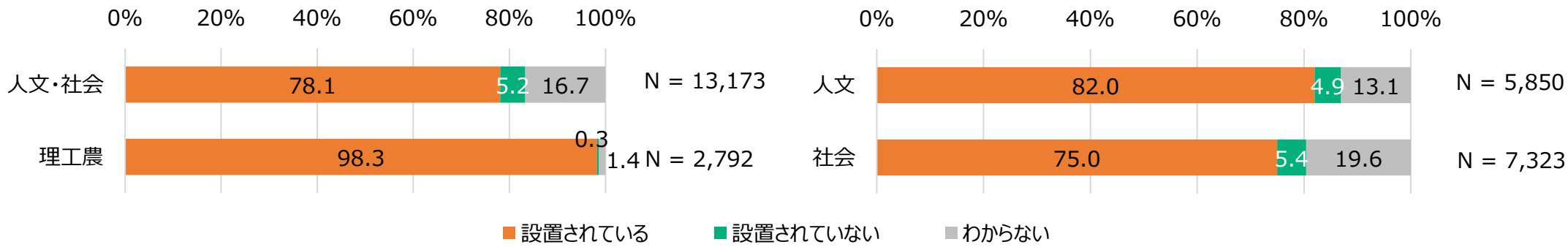
(社会)



【全員が回答】

在籍する大学に、在籍する学部・学科の分野に関連する大学院（研究科・専攻）が設置されているか

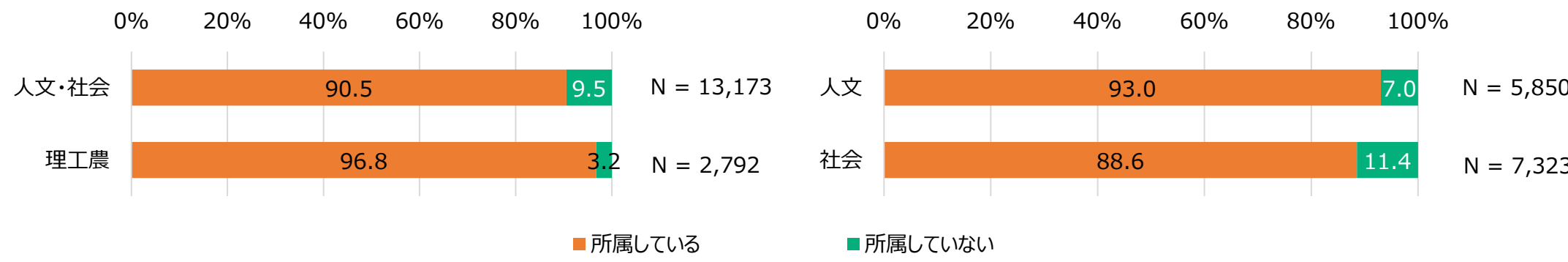
• 人文科学・社会科学系の学生の16.7%が、自身が在籍する大学に、在籍する学部・学科の分野に関連する大学院が設置されているか「わからない」と回答。



【全員が回答】

研究室やゼミに所属しているか

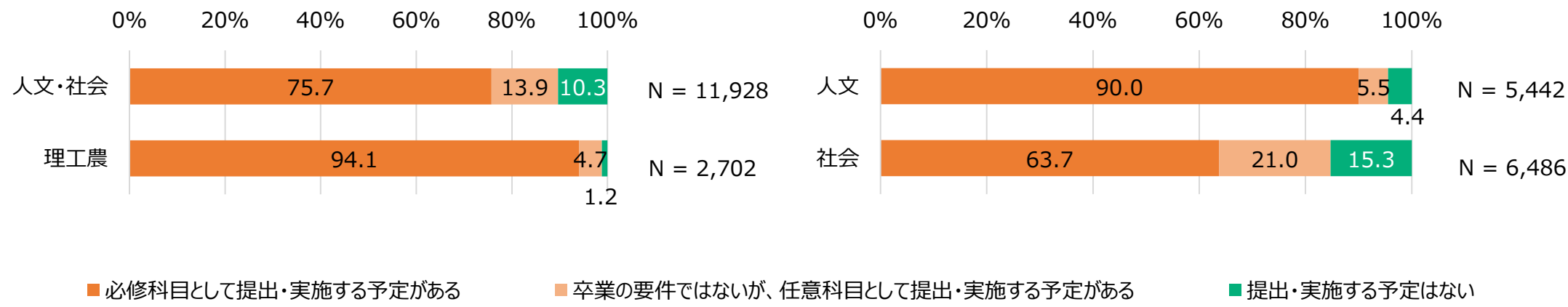
• 人文科学・社会科学系では、9.5%の学生が研究室やゼミに所属していない。



【現在、研究室やゼミに所属している学生が回答】

卒業論文（卒業制作や卒研の発表を含む）の提出予定

- 人文科学・社会科学系の89.7%、理学・工学・農学系の98.8%の学生が、必修科目又は任意科目として卒業論文等を提出予定である。
- 人文科学・社会科学系のうち、社会科学系で提出予定の学生は84.7%とやや低い。



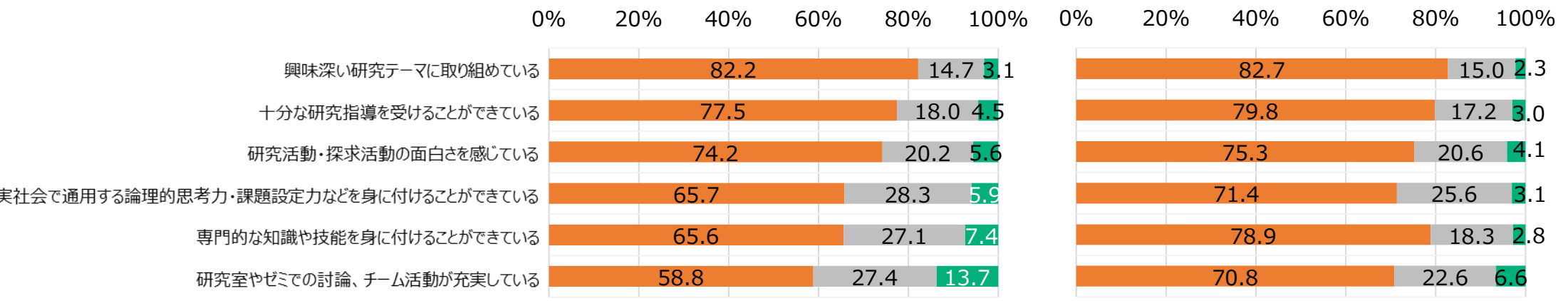
【現在、研究室やゼミに所属している学生が回答】

これまでの研究室やゼミでの経験

- 人文科学・社会科学系、理学・工学・農学系ともに8割以上の学生が「興味深い研究テーマに取り組めている」と回答。
- 人文科学・社会科学系では、「実社会で通用する論理的思考力・課題設定力などを身に付けることができる」、「専門的な知識や技能を身に付けることができる」、「研究室やゼミでの討論、チーム活動が充実している」に「そう思わない」と回答した学生の割合が、理学・工学・農学系の学生よりやや高い。

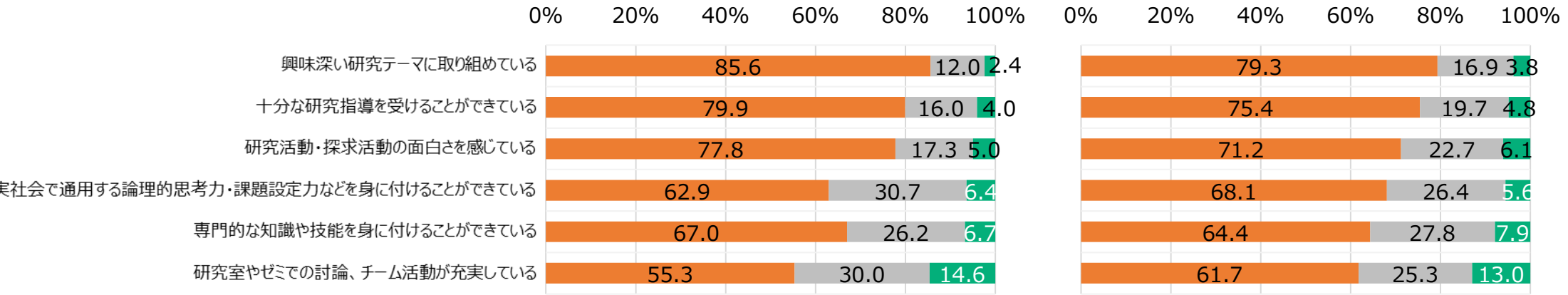
(人文・社会) N = 11,928

(理工農) N = 2,792



(人文) N = 5,442

(社会) N = 6,486

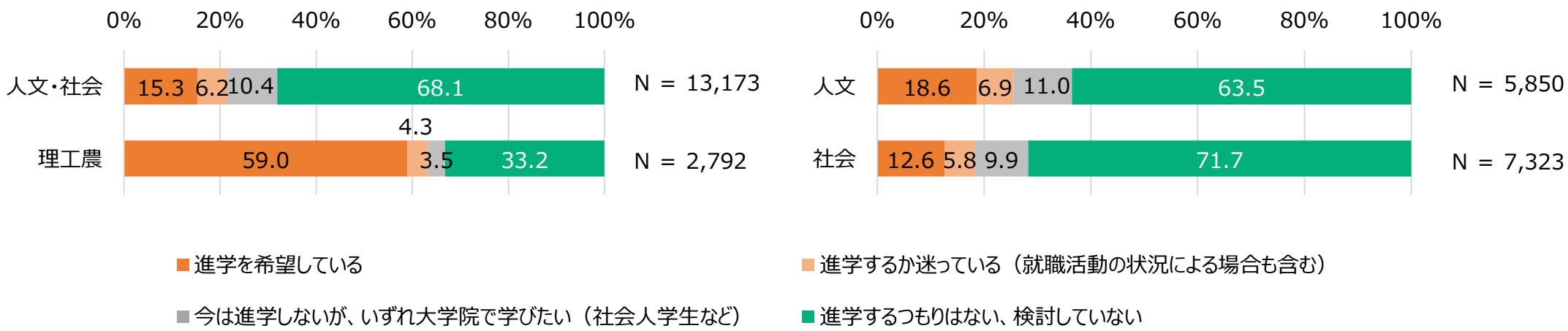


■ そう思う ■ どちらとも言えない ■ そう思わない

【全員が回答】

現時点での大学院進学に関する考え

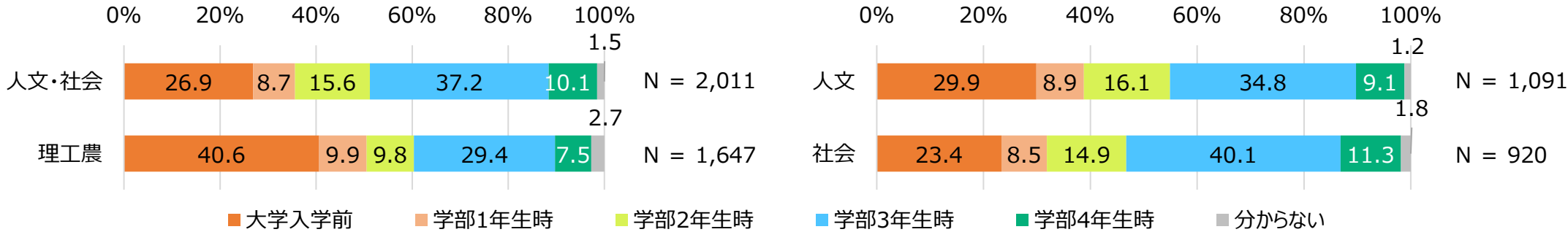
- 現時点で大学院への進学を希望している学生の割合は、人文科学・社会科学系で15.3%であり、理学・工学・農学系と比較して低い。
- 人文科学・社会科学系の学生の10.4%が「今は進学しないが、いずれ大学院で学びたい」と回答。



【①-1 進学を希望していると回答した学生が回答】

大学院への進学を希望するようになった時期

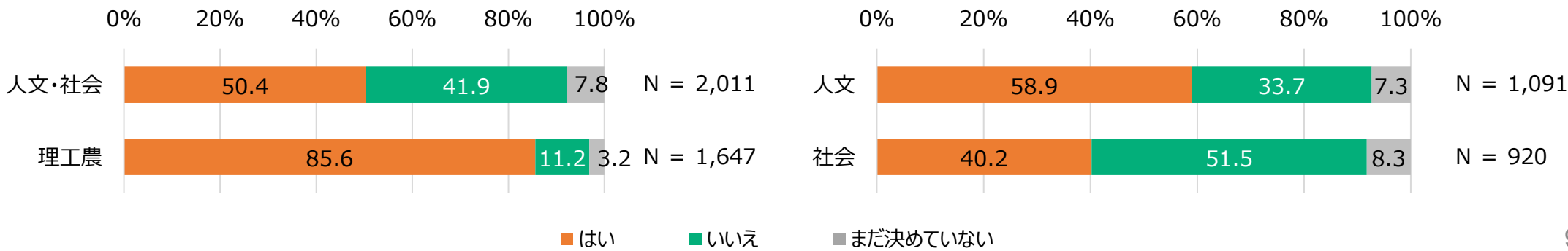
- 人文科学・社会科学系では37.2%の学生が、学部3年で大学院への進学を希望するようになったと回答。
- 理学・工学・農学系では40.6%の学生が大学入学前に進学を希望している。



【①-2 進学を希望していると回答した学生が回答】

進学を希望する大学院は、現在在籍している大学の大学院か（志望校が複数ある場合は第一希望を回答）

- 人文科学・社会科学系の学生は、50.4%が自大学、41.9%が自大学以外の大学院への進学を希望している。
- 特に、社会科学系では、自大学以外の大学院への進学を希望している学生の割合が高い（51.5%）。
- 理学・工学・農学系の学生は、85.6%の学生が自大学の大学院への進学を希望している。

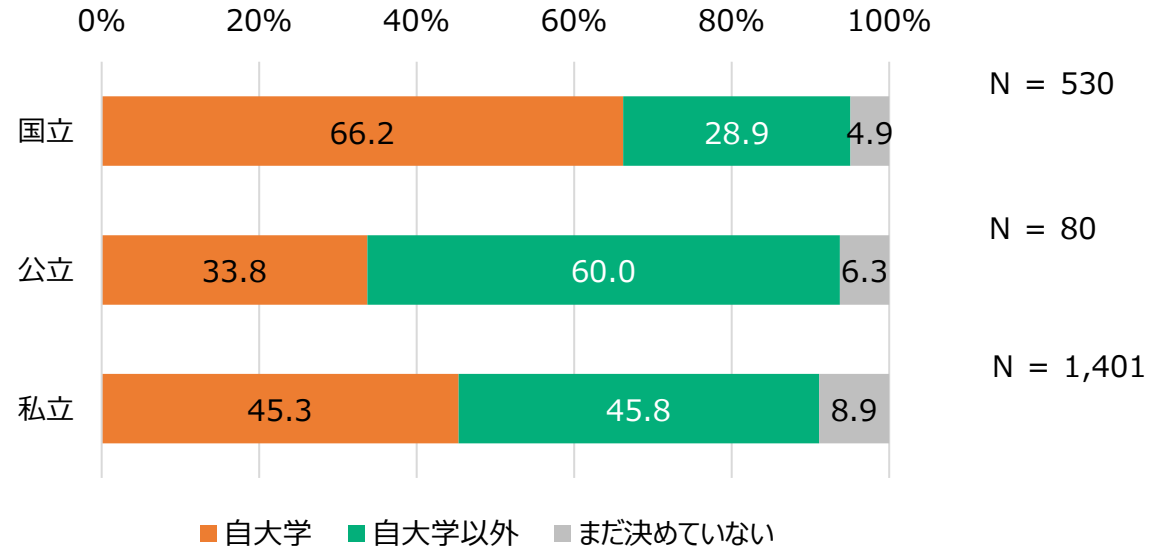


【① - 2の追加分析】

設置者別に見た進学希望先

- 大学院への進学を希望する人文科学・社会科学系の学生について、現在在籍する大学の設置者別に進学希望先を集計した。
- 自大学以外の大学の大学院への進学を希望する学生の割合は、国立で28.9%、公立で60.0%、私立で45.8%。

在籍する大学の設置者×進学希望先

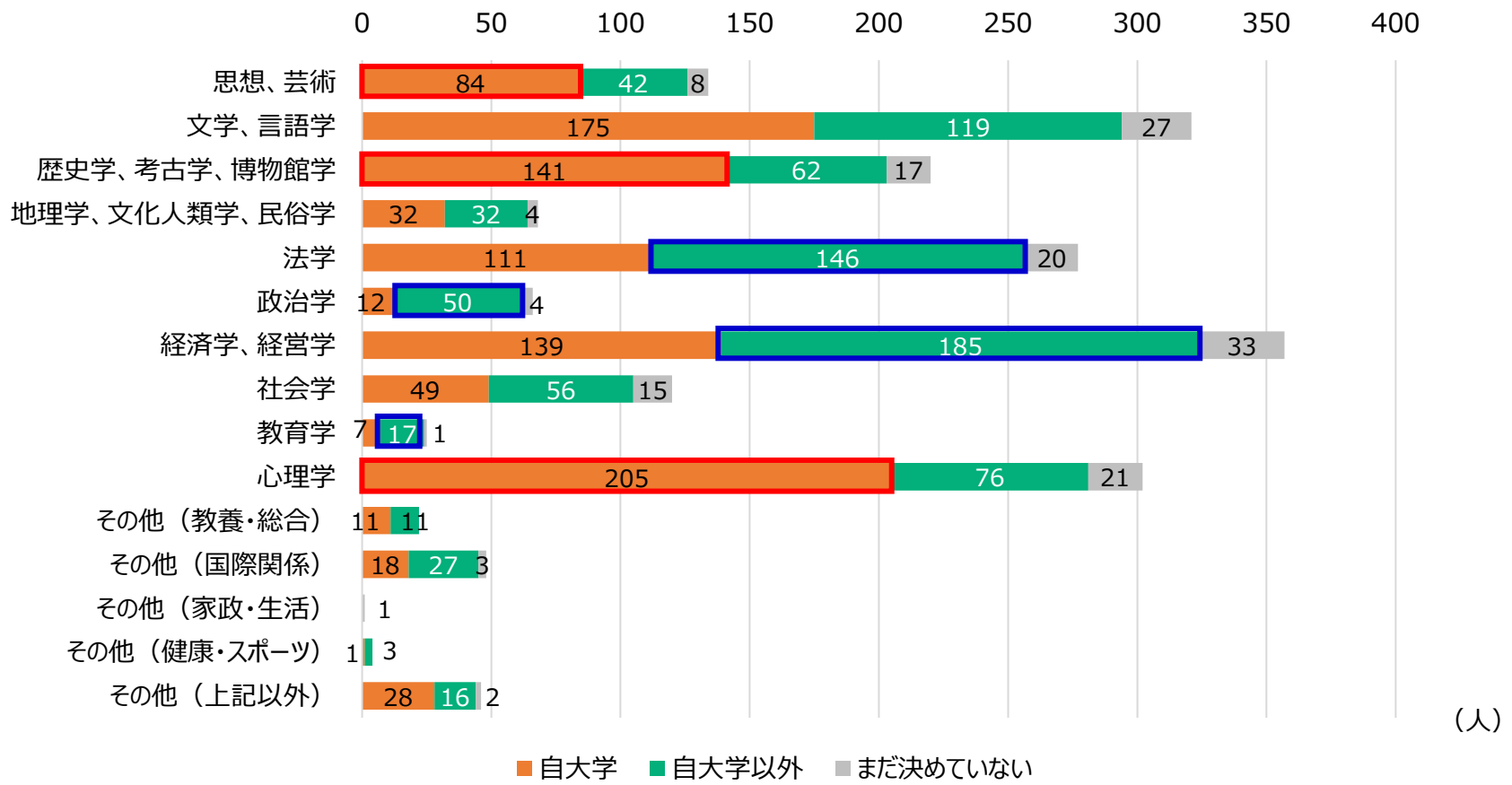


【① - 2の追加分析】

在籍する学部・学科の分野別に見た進学希望先

- 大学院への進学を希望する人文科学・社会科学系の学生について、在籍する学部・学科の分野別に進学希望先を集計した。
- 自大学の大学院への進学を希望する学生の割合が高いのは、思想、芸術（62.7%）、歴史学、考古学、博物館学（64.1%）、心理学（67.9%）である。
- 自大学以外の大学院への進学を希望する学生の割合が高いのは、法学（52.7%）、政治学（75.8%）、経済学、経営学（51.8%）、教育学（68.0%）である。

在籍する学部・学科の分野×進学希望先

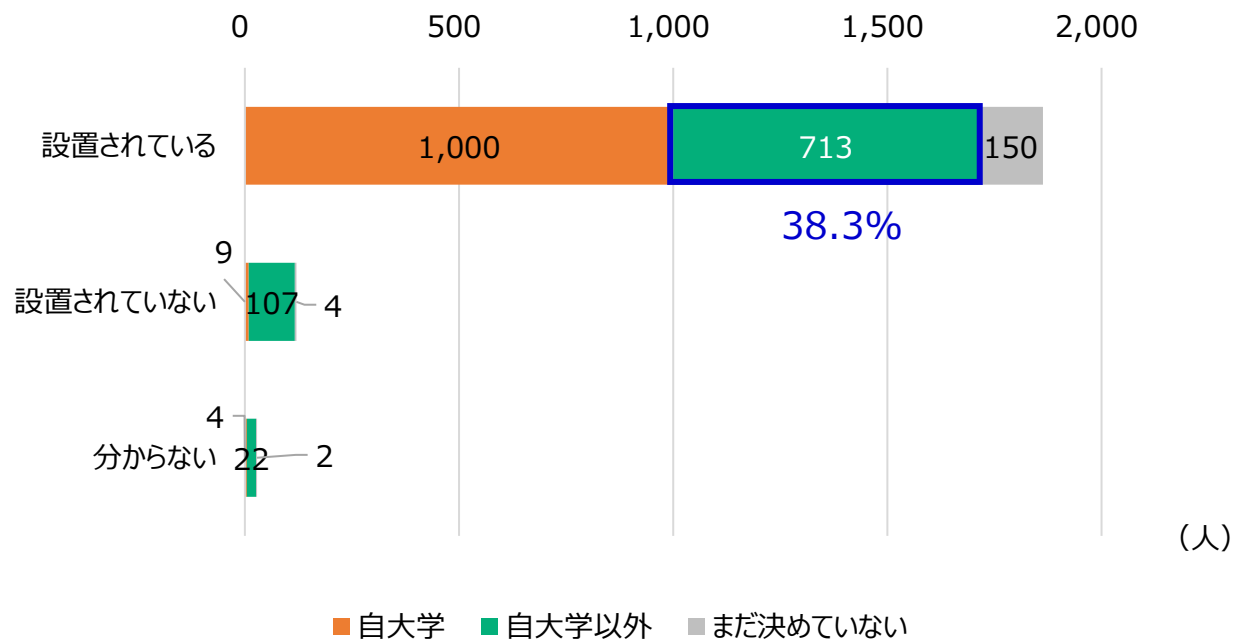


【① - 2の追加分析】

大学院設置の有無別に見た進学希望先

• 大学院への進学を希望する人文科学・社会科学系の学生について、自身が在籍する大学に、在籍する学部・学科の分野に関連する大学院（研究科・専攻）が「設置されている」と回答した学生のうち、38.3%が自大学以外の大学院への進学を希望している。

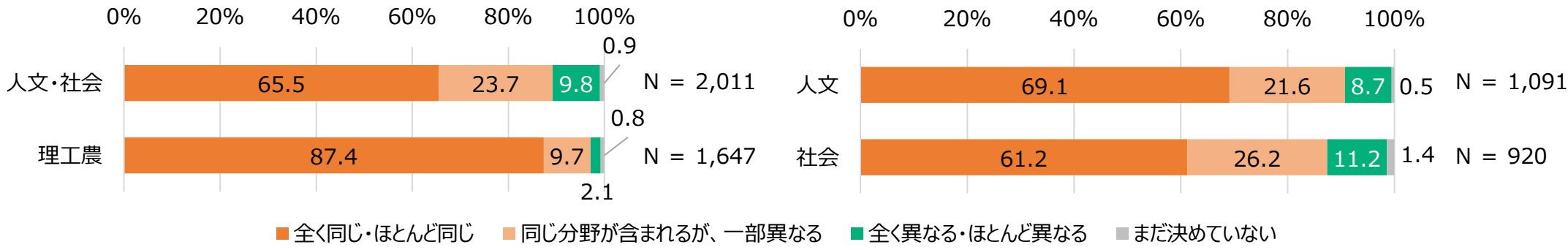
大学院設置の有無×進学希望先



【①-3 進学を希望していると回答した学生が回答】

進学を希望する大学院（研究科・専攻）の分野は、現在在籍する学部・学科の分野と同じか

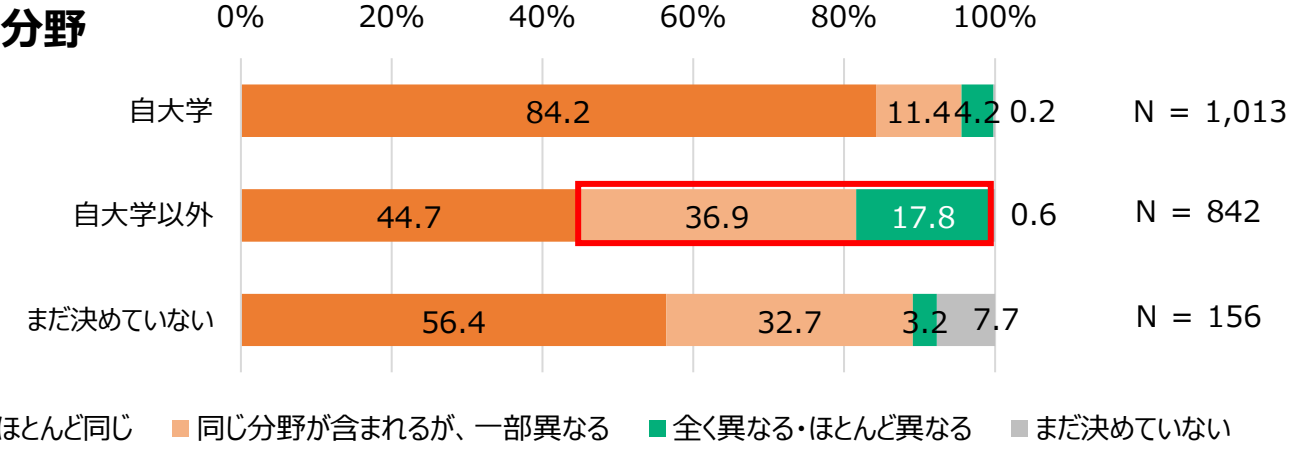
• 人文科学・社会科学系で全く同じ・ほとんど同じ分野への進学を希望する学生は65.5%であり、理学・工学・農学系と比較して同じ分野への進学希望者の割合が低い。



【①-3の追加分析】

• 大学院への進学を希望する人文科学・社会科学系の学生のうち、進学を希望する大学院（研究科・専攻）の分野について、進学希望先ごとに集計した。
 • 自大学以外の大学の大学院への進学を希望する学生は、在籍する学部・学科と異なる分野の研究科・専攻を希望する割合が高い。全く同じ・ほとんど同じ分野の研究科・専攻を希望する学生も44.7%存在。

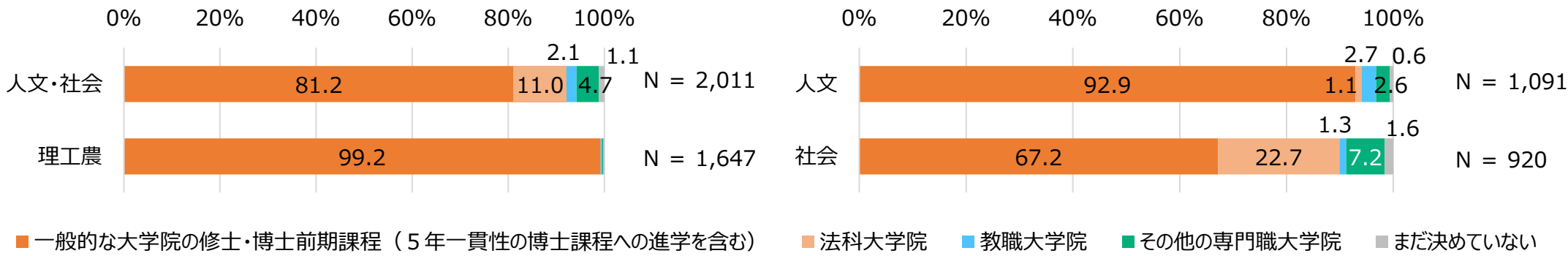
進学希望先×進学希望分野



【①-4 進学を希望していると回答した学生が回答】

進学を希望する大学院の種別

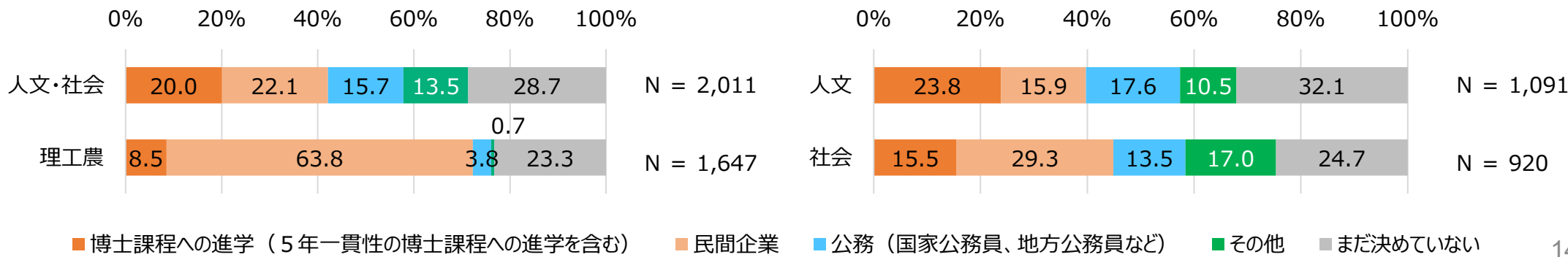
人文科学系と社会科学系を比較すると、社会科学系の学生は、法科大学院やその他の専門職大学院への進学を希望する割合が高い。



【①-5 進学を希望していると回答した学生が回答】

修士課程修了後に希望するキャリアパス

- 修士課程修了後に民間企業への就職を希望している学生の割合は、人文科学・社会科学系では22.1%、理学・工学・農学系では63.8%。
- 人文科学・社会科学系の学生の15.7%が、修了後のキャリアパスとして公務を希望している。
- 博士課程への進学を希望しているのは人文科学・社会科学系で20.0%であり、理学・工学・農学系と比較して高い。

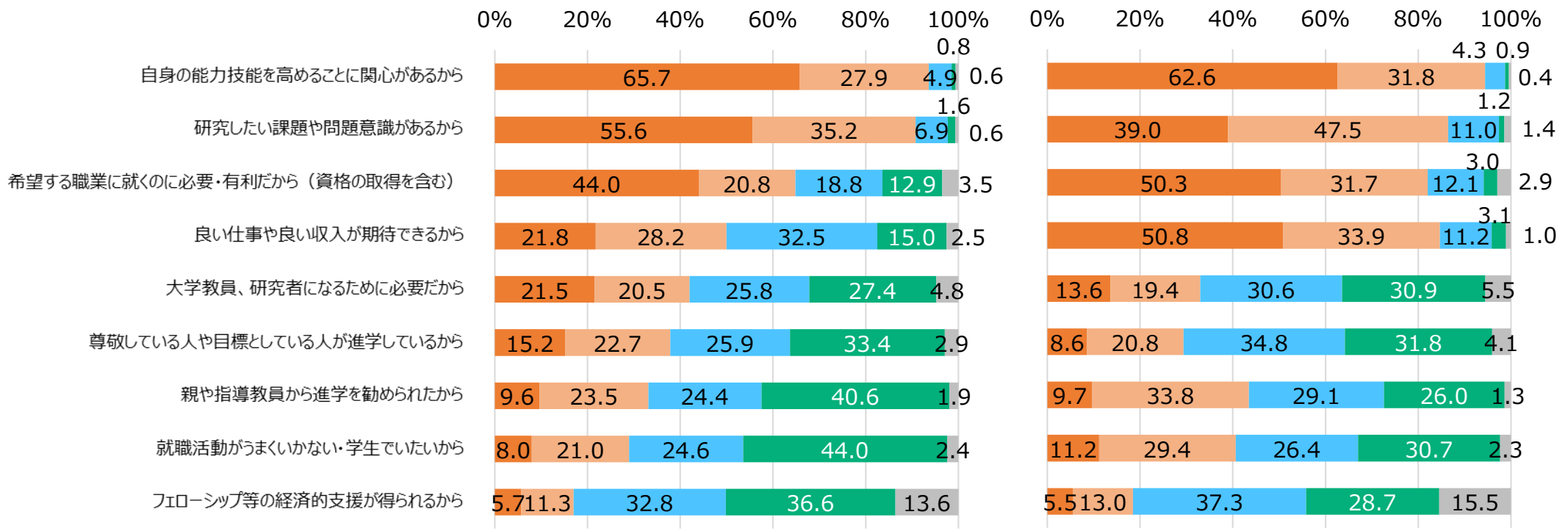


【①-6 進学を希望していると回答した学生が回答】

大学院への進学を希望する理由・大学院の魅力

- 「自身の能力技能を高めることに興味があるから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した学生の割合は、人文科学・社会科学系、理学・工学・農学系ともに9割以上。
- 人文科学・社会科学系では、「研究したい課題や問題意識があるから」に「とても当てはまる」と回答した学生の割合が高い。
- 人文科学・社会科学系において、「良い仕事や良い収入が期待できるから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した学生の割合は50.0%で、理学・工学・農学系の84.7%と比較して低い。

(人文・社会) N = 2,011 (理工農) N = 1,647

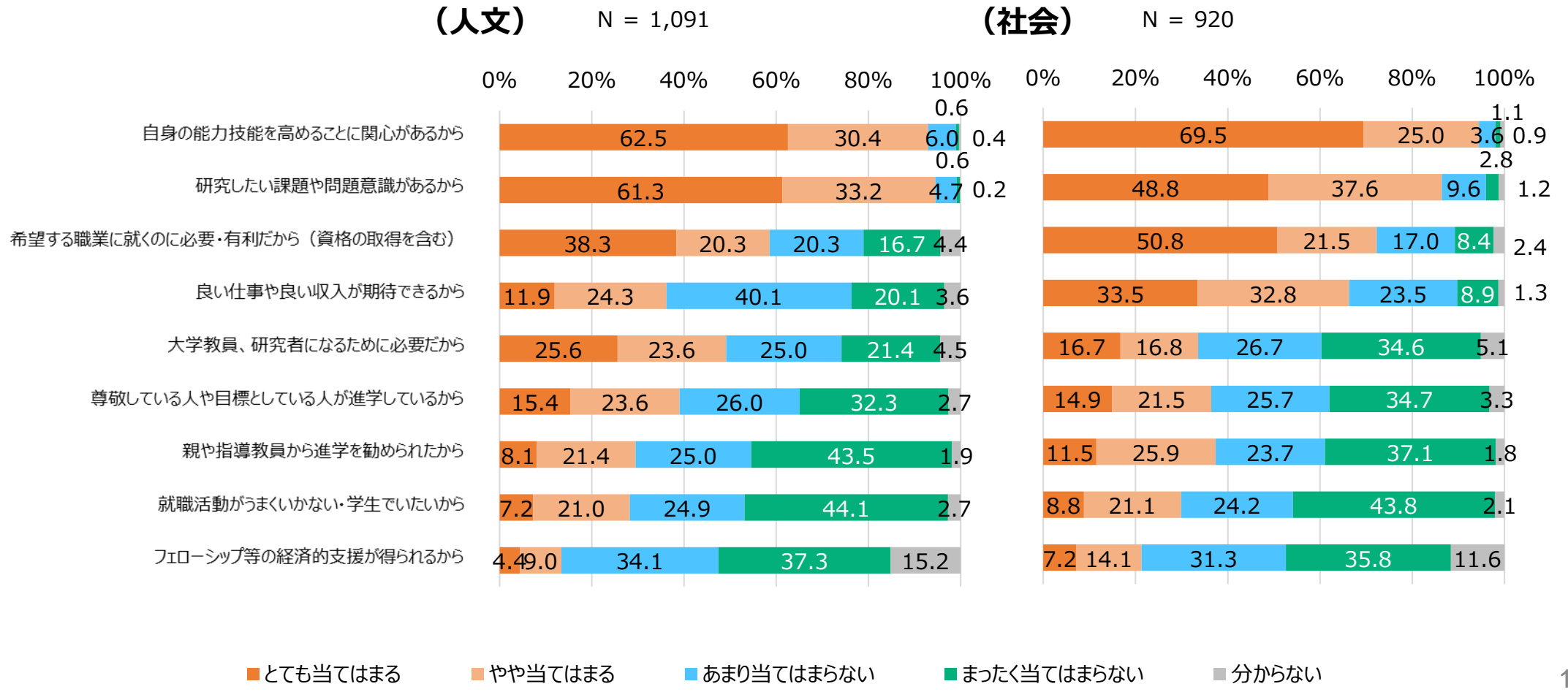


■ とても当てはまる
 ■ やや当てはまる
 ■ あまり当てはまらない
 ■ まったく当てはまらない
 ■ 分からない

【①-6 (続き) 進学を希望していると回答した学生が回答】

大学院への進学を希望する理由・大学院の魅力

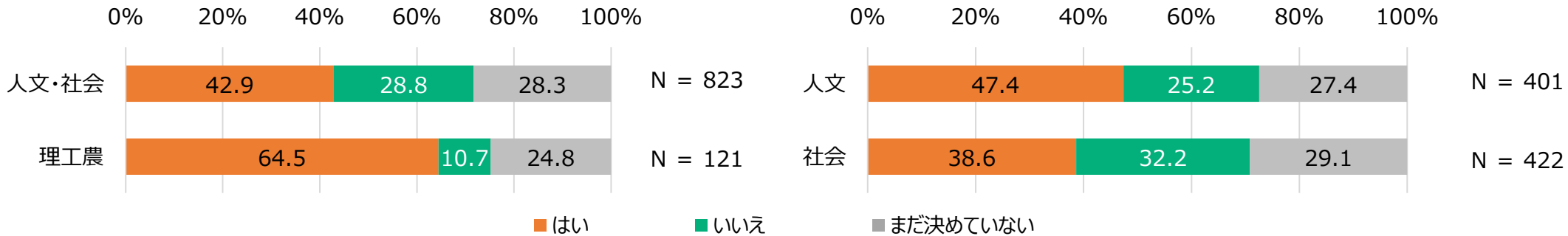
- 人文科学系と社会科学系を比較すると、人文科学系では、「研究したい課題や問題意識があるから」に「とても当てはまる」と回答した学生の割合が高い。
- 「良い仕事や良い収入が期待できるから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した学生の割合は、人文科学系で36.2%となっており、社会科学系の66.3%と比較して著しく低い。
- 「大学教員、研究者になるために必要だから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した学生の割合は、人文科学系で49.1%となっており、社会科学系の33.6%よりやや高い。



【②-1 進学するか迷っていると回答した学生が回答】

進学を迷っている大学院は、現在在籍している大学の大学院か（進学希望の大学院が複数ある場合は第一希望を回答）

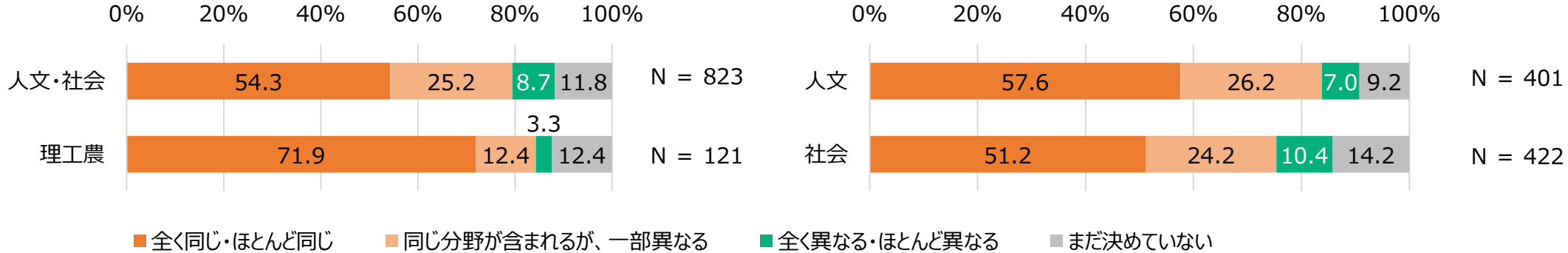
人文科学・社会科学系では、理学・工学・農学系と比較して、自大学の大学院への進学を希望する学生の割合が低い。



【②-2 進学するか迷っていると回答した学生が回答】

進学を迷っている大学院（研究科・専攻）の分野は在籍する学部・学科の分野と同じか

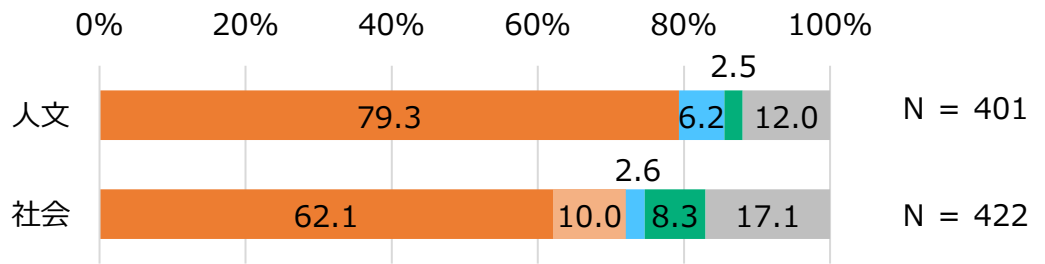
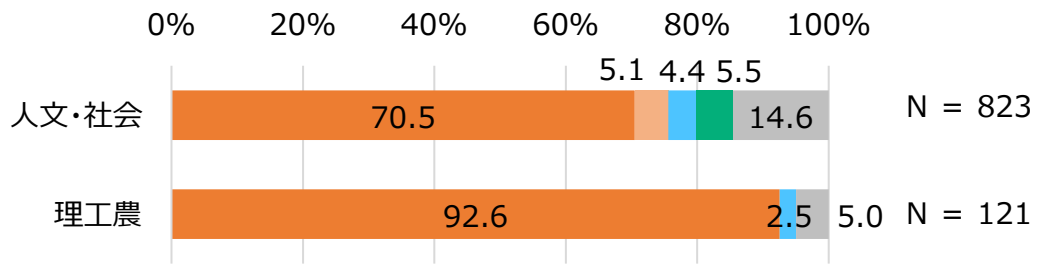
人文科学・社会科学系では、理学・工学・農学系と比較して、現在の分野と全く同じ・ほとんど同じ分野への進学を希望する学生の割合が低い。



【②-3 進学するか迷っていると回答した学生が回答】

進学を希望する大学院の種別

人文科学系と社会科学系を比較すると、社会科学系では、法科大学院やその他の専門職大学院への進学を希望する学生の割合が高い。

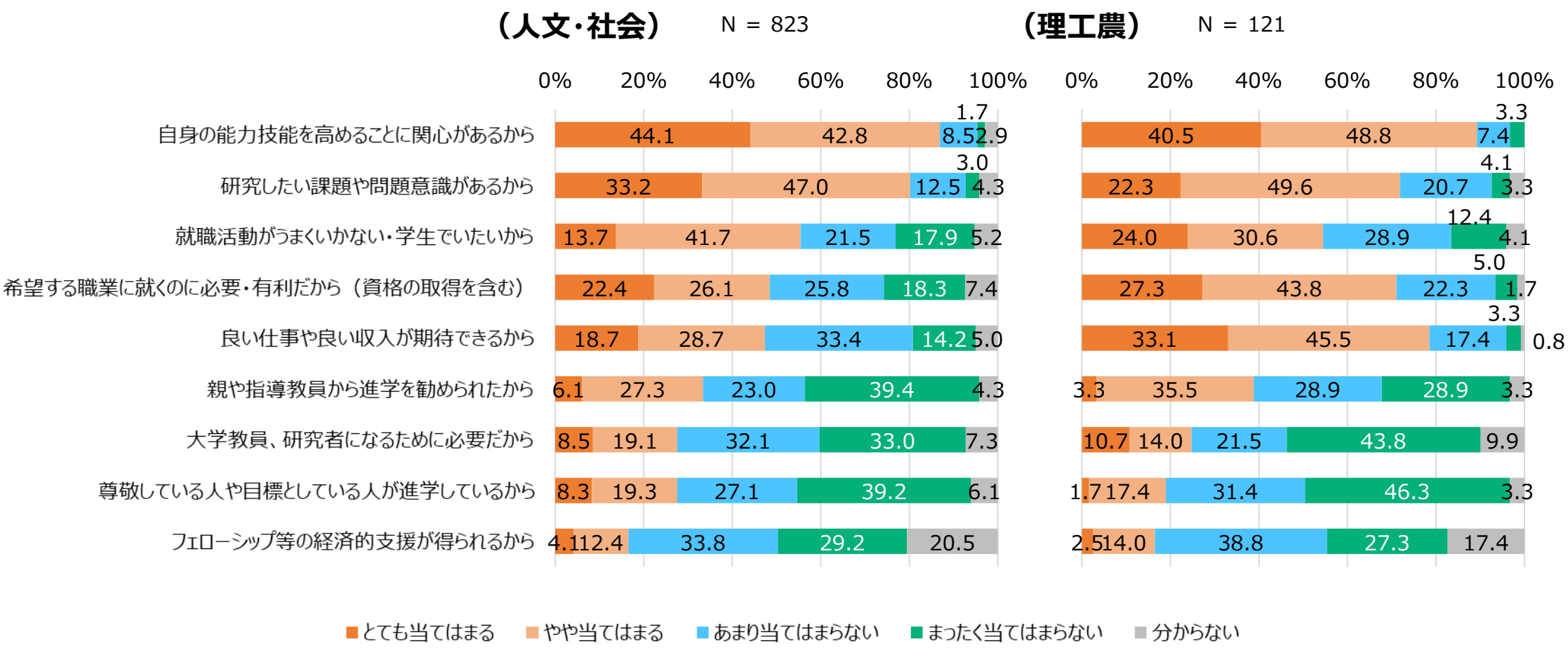


■ 一般的な大学院の修士・博士前期課程（5年一貫性の博士課程への進学を含む）
 ■ 法科大学院
 ■ 教職大学院
 ■ その他の専門職大学院
 ■ まだ決めていない

【②-4 進学するか迷っていると回答した学生が回答】

大学院への進学を希望する理由・大学院の魅力

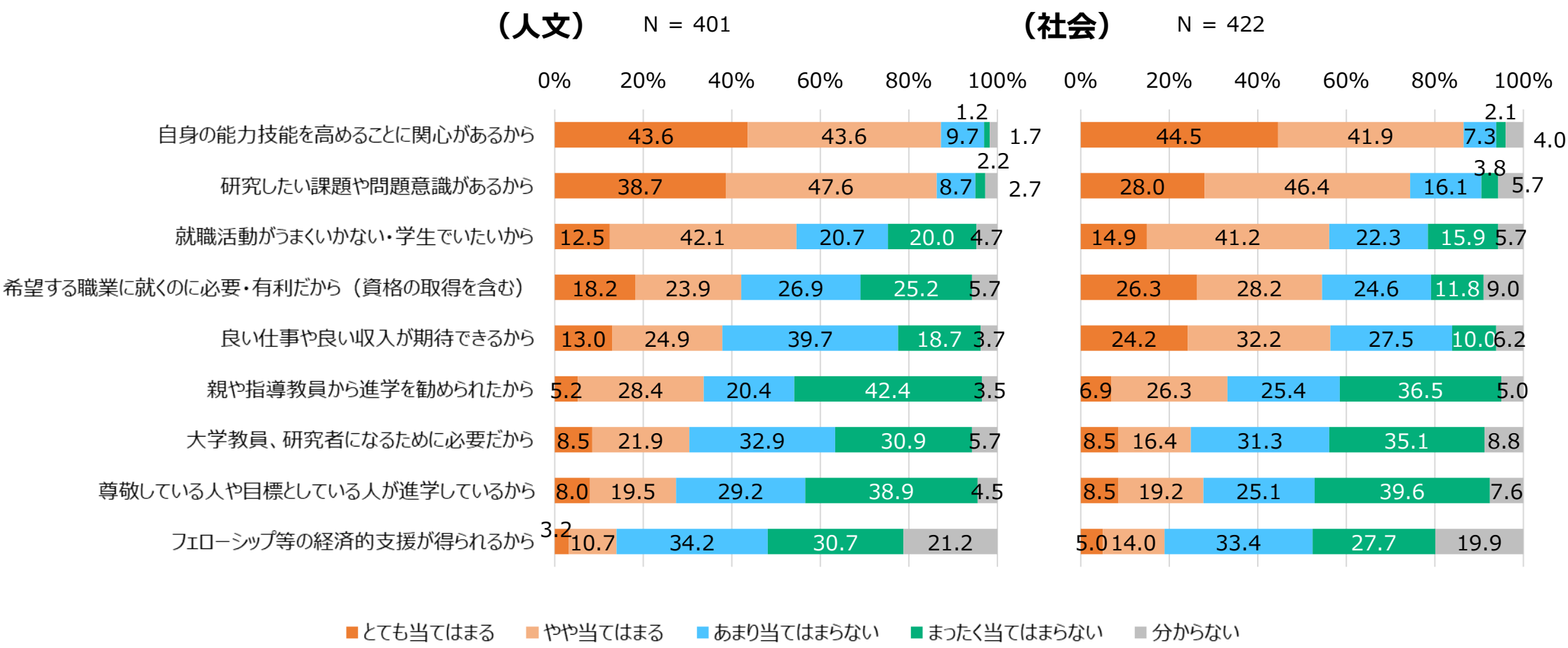
- 「自身の能力技能を高めることに関心があるから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した学生の割合は、人文科学・社会科学系、理学・工学・農学系ともに約9割。
- 「希望する職業に就くのに必要・有利だから」「良い仕事や良い収入が期待できるから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した学生の割合は、人文科学・社会科学系ではそれぞれ48.5%、47.4%であり、理学・工学・農学系の71.1%、78.5%と比較して著しく低い。



【②-4 (続き) 進学するか迷っていると回答した学生が回答】

大学院への進学を希望する理由・大学院の魅力

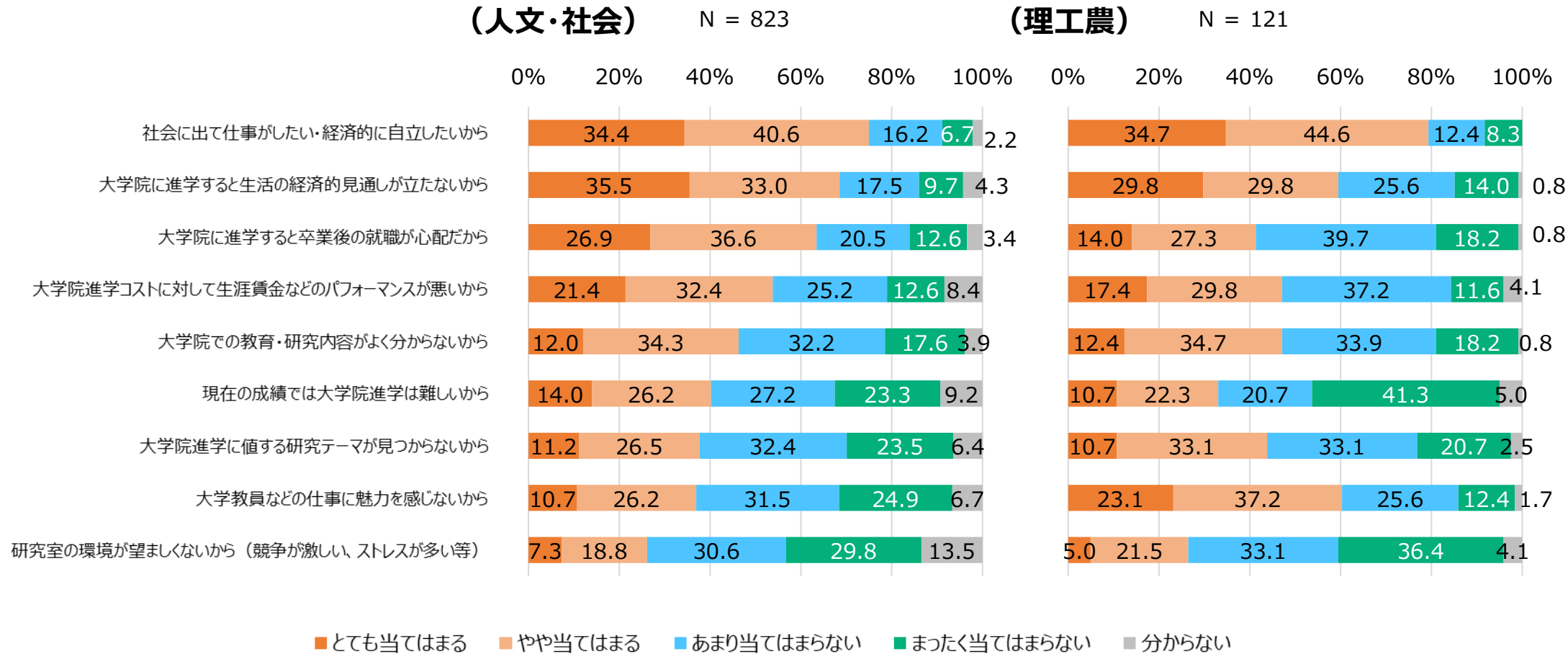
- 人文科学系と社会科学系を比較すると、人文科学系では、「研究したい課題や問題意識があるから」に「とても当てはまる」と回答した学生の割合が高い。
- 「希望する職業に就くのに必要・有利だから」、「良い仕事や良い収入が期待できるから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した学生の割合は、人文科学系ではそれぞれ42.1%、37.9%と、社会科学系の54.5%、56.4%と比べて低くなっている。



【②-5 進学するか迷っていると回答した学生が回答】

大学院への進学を躊躇する理由・難点

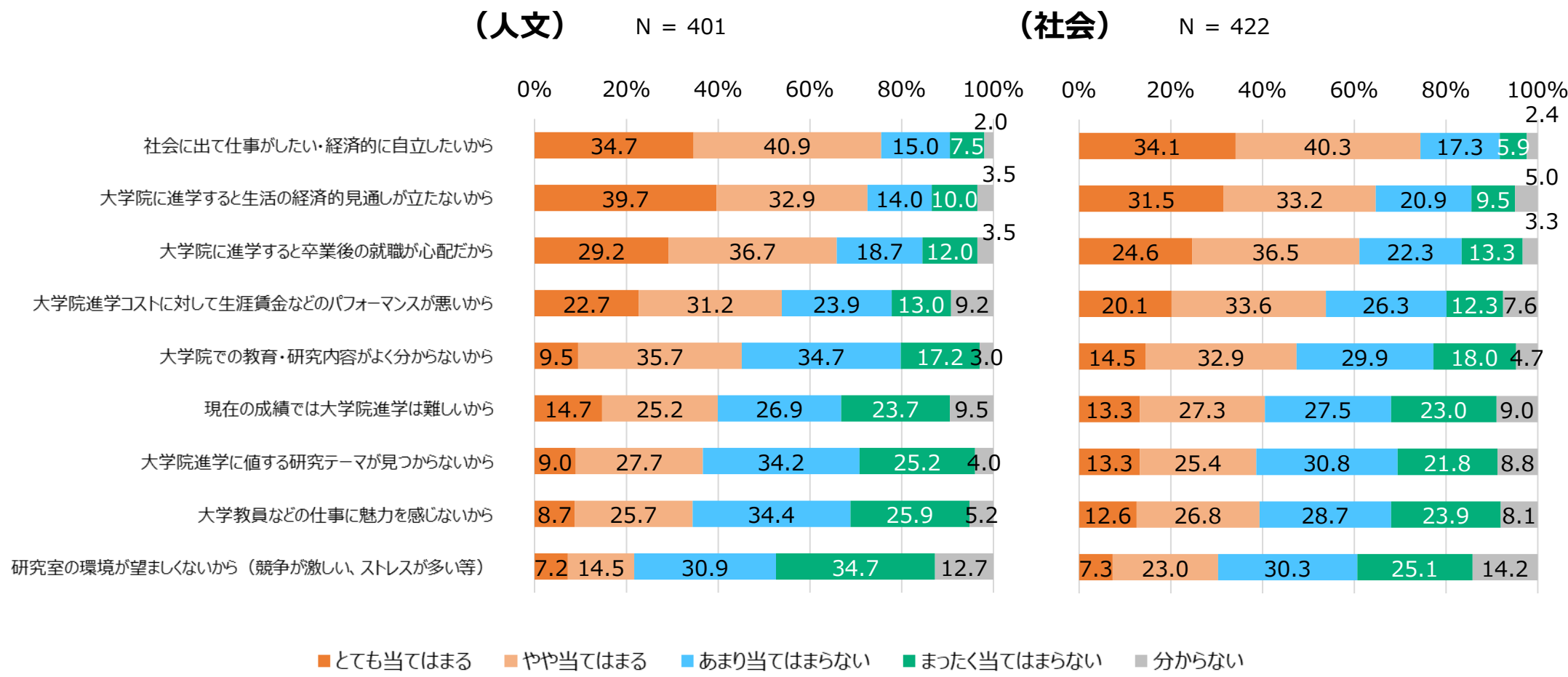
- 人文科学・社会科学系、理学・工学・農学系ともに8割弱の学生が「社会に出て仕事がしたい・経済的に自立したいから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答。
- 人文科学・社会科学系では、「大学院に進学すると卒業後の就職が心配だから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した学生の割合が63.4%で、理学・工学・農学系の41.3%と比較して高くなっている。



【②-5（続き） 進学するか迷っていると回答した学生が回答】

大学院への進学を躊躇する理由・難点

- 人文科学系と社会科学系を比較すると、回答の傾向に大きな差はない。
- 人文科学系では、「大学院に進学すると生活の経済的見通しが立たないから」に「とても当てはまる」と回答した学生の割合がやや高い。



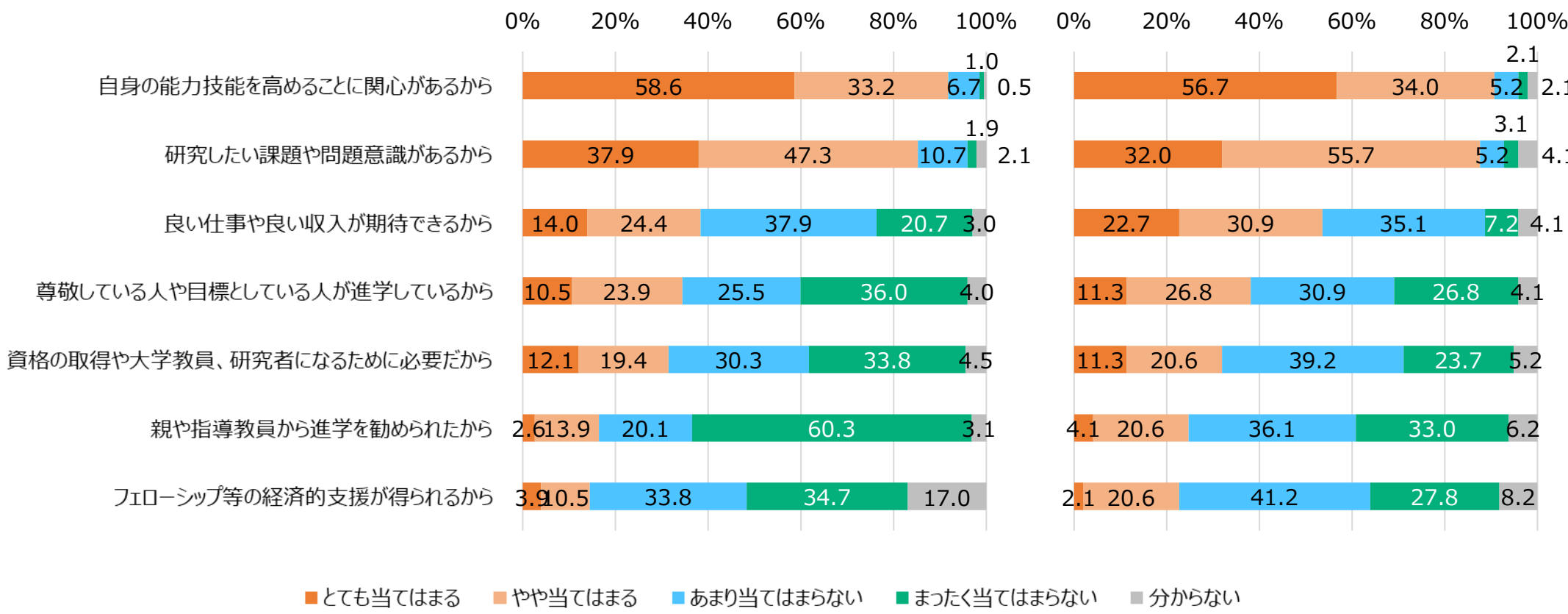
【③-1 今は進学しないが、いずれ大学院で学びたいと回答した学生が回答】

大学院への進学を希望する理由・大学院の魅力

- 人文科学・社会科学系、理学・工学・農学系ともに、「自身の能力技能を高めることに興味があるから」、「研究したい課題や問題意識があるから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した学生の割合が高い。
- 人文科学・社会科学系では、「良い仕事や良い収入が期待できるから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した学生の割合は38.4%とであり、理学・工学・農学系の53.6%と比較して低くなっている。

(人文・社会) N = 1,368

(理工農) N = 97

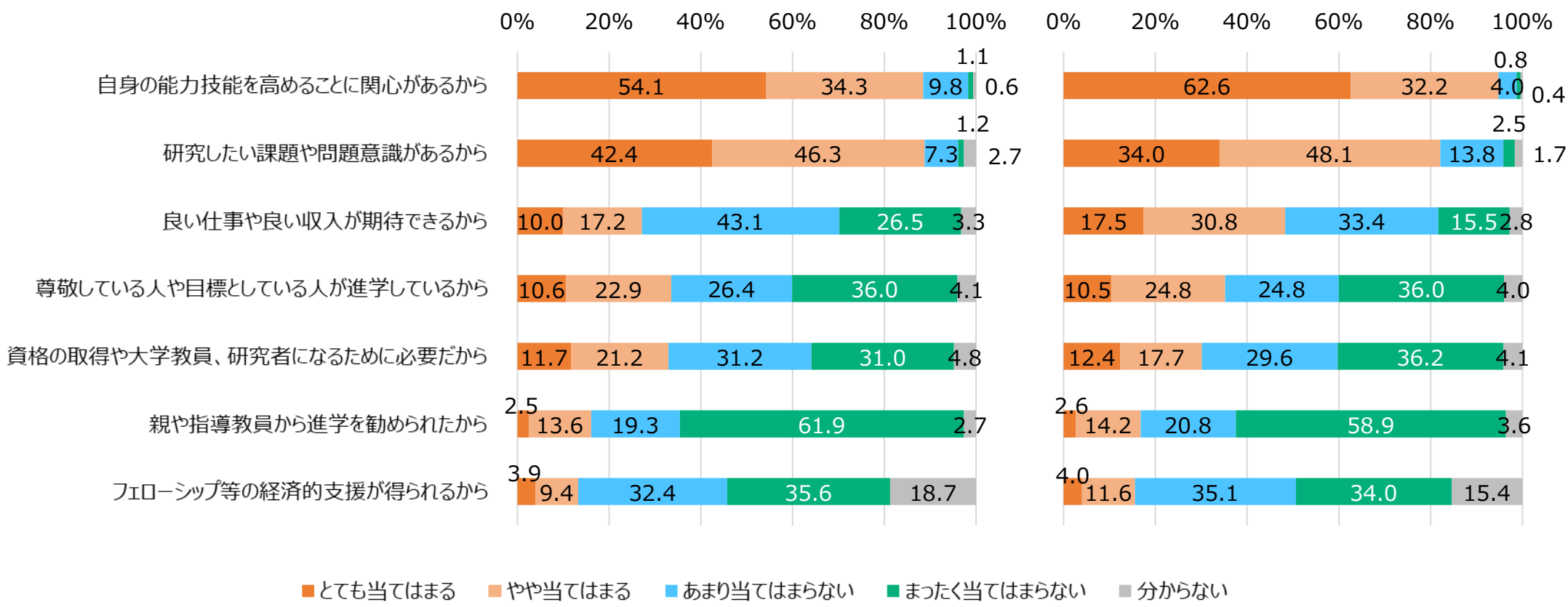


【③-1 (続き) 今は進学しないが、いずれ大学院で学びたいと回答した学生が回答】

大学院への進学を希望する理由・大学院の魅力

- 人文科学系と社会科学系を比較すると、回答の傾向に大きな差はない。
- 人文科学系では、「良い仕事や良い収入が期待できるから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した学生の割合が27.1%であり、社会科学系の48.3%と比較して低くなっている。

(人文) N = 641 (社会) N = 727

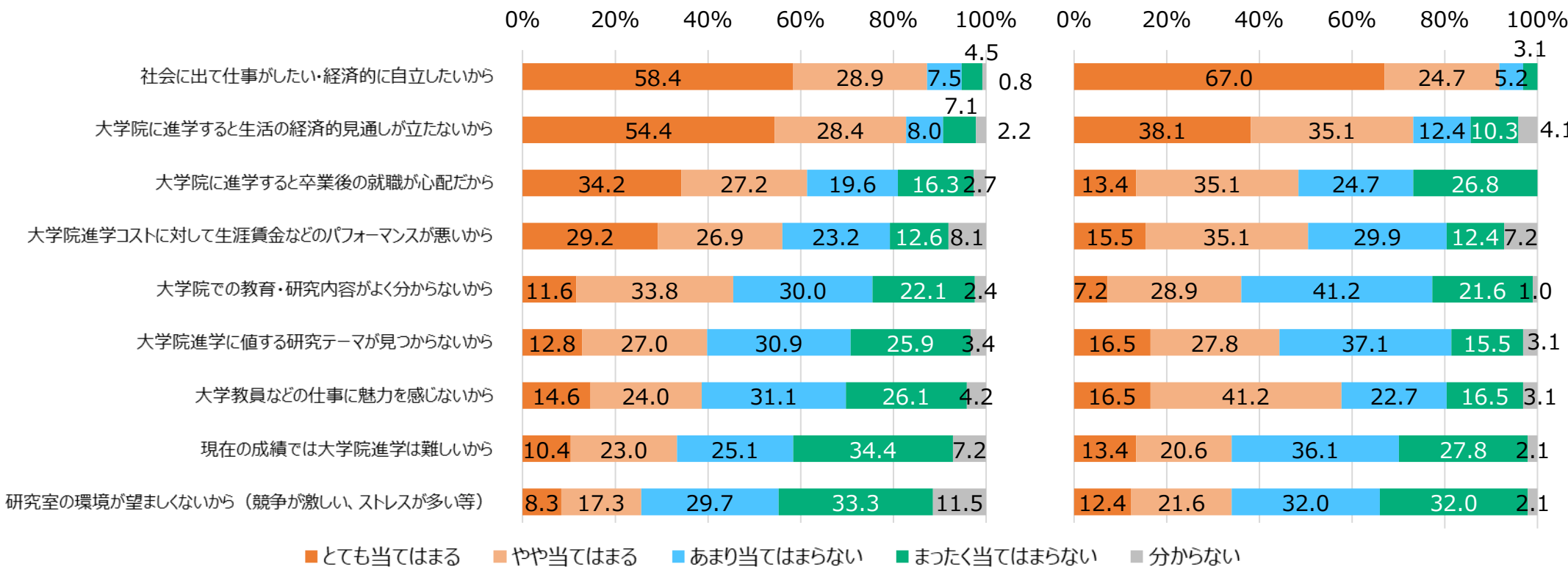


【③-2 今は進学しないが、いずれ大学院で学びたいと回答した学生が回答】

現時点で大学院への進学を躊躇する理由・難点

- 人文科学・社会科学系、理学・工学・農学系ともに、「社会に出て仕事がしたい・経済的に自立したいから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した学生の割合が高い。
- 人文科学・社会科学系では、「大学院に進学すると生活の経済的見通しが立たないから」、「大学院に進学すると卒業後の就職が心配だから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した割合がそれぞれ82.7%、61.4%であり、理学・工学・農学系の73.2%、48.5%と比較してやや高い。

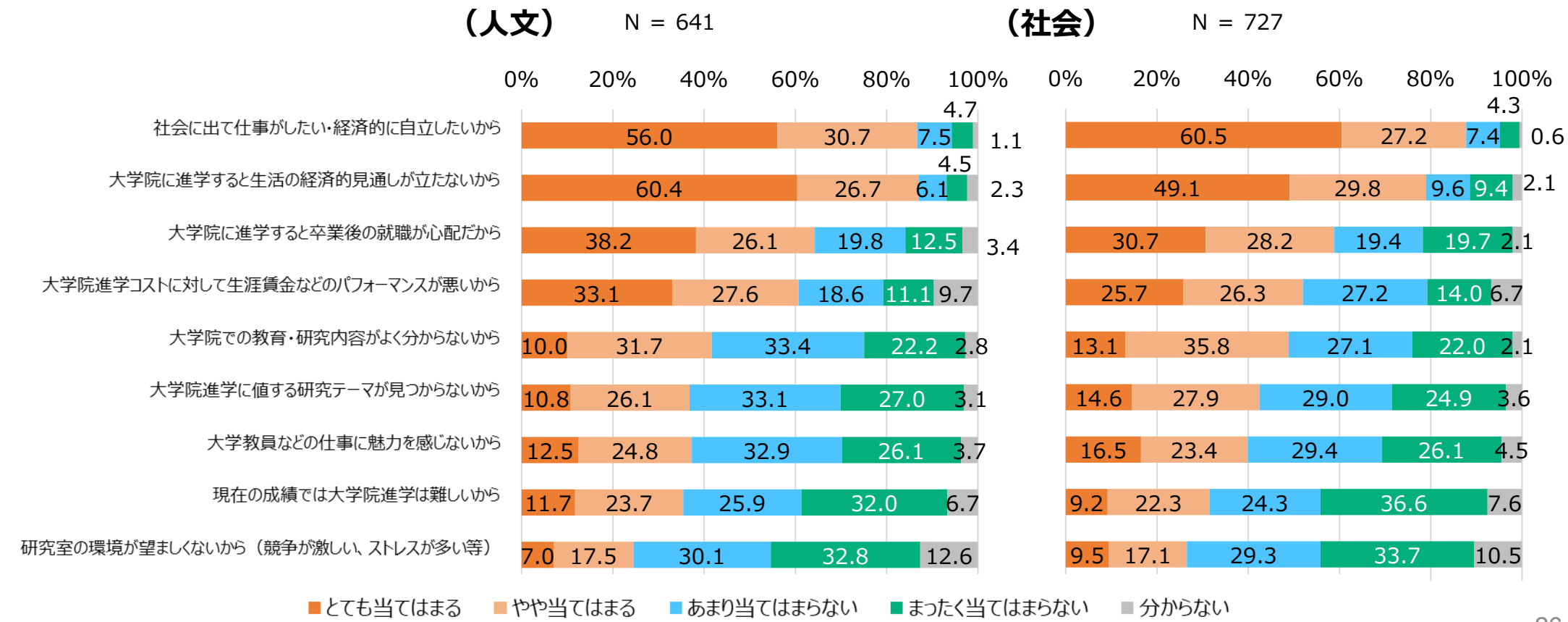
(人文・社会) N = 1,368 (理工農) N = 97



【③-2 (続き) 今は進学しないが、いずれ大学院で学びたいと回答した学生が回答】

現時点で大学院への進学を躊躇する理由・難点

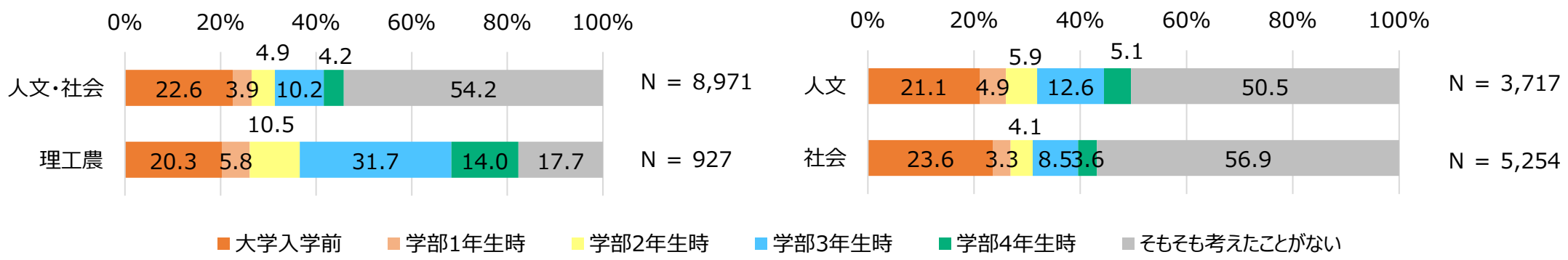
- 人文科学系と社会科学系を比較すると、回答の傾向に大きな差はない。
- 人文科学系では、「大学院に進学すると生活の経済的見通しが立たないから」、「大学院に進学すると卒業後の就職が心配だから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した割合がそれぞれ87.1%、64.3%であり、社会科学系の79.0%、58.9%と比較してやや高くなっている。



【④-1 進学するつもりはない、検討していないと回答した学生が回答】

大学院に進学しないことを決めた時期

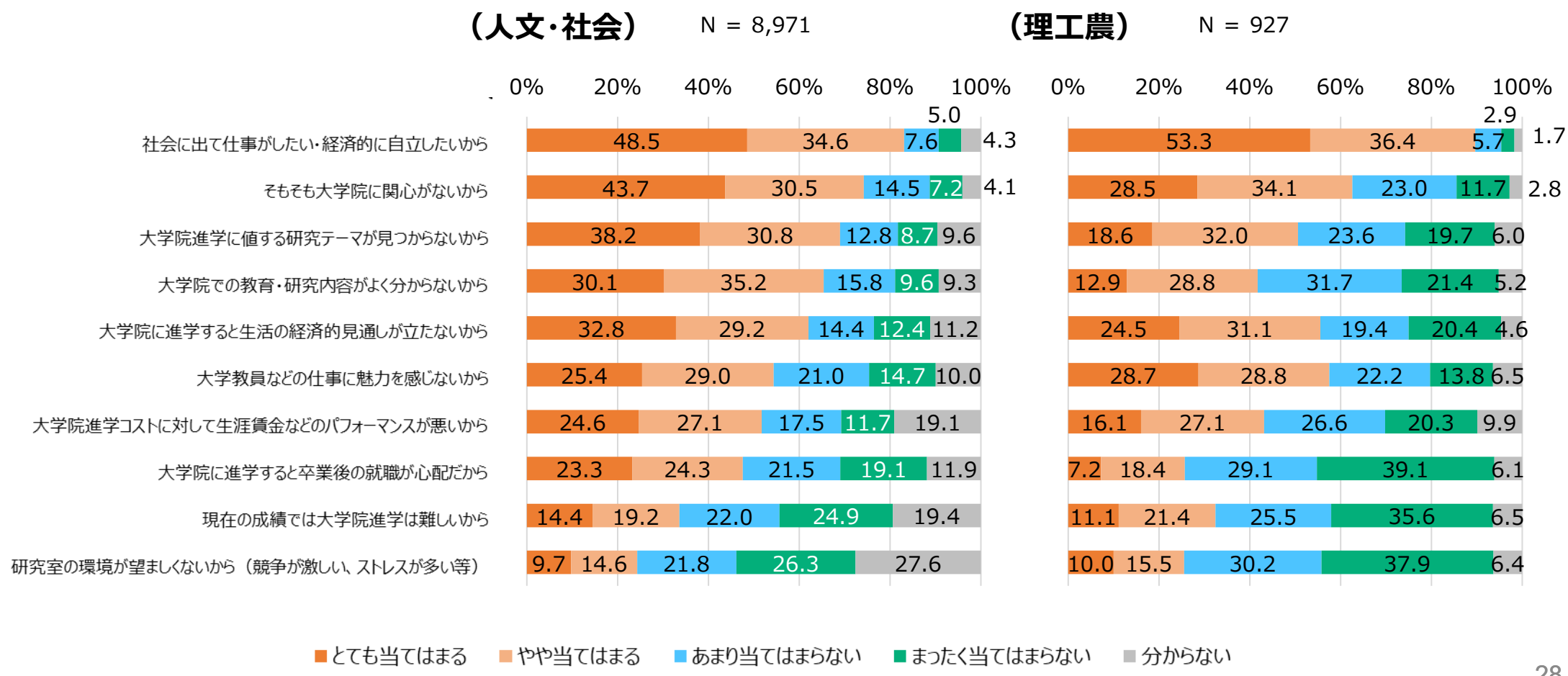
- 人文科学・社会科学系の54.2%の学生が、大学院への進学を「そもそも考えたことがない」と回答。
- 理学・工学・農学系では、31.7%の学生が学部3年生で進学しないことを決めたと回答。



【④-2 進学するつもりはない、検討していないと回答した学生が回答】

大学院への進学を躊躇する理由・難点

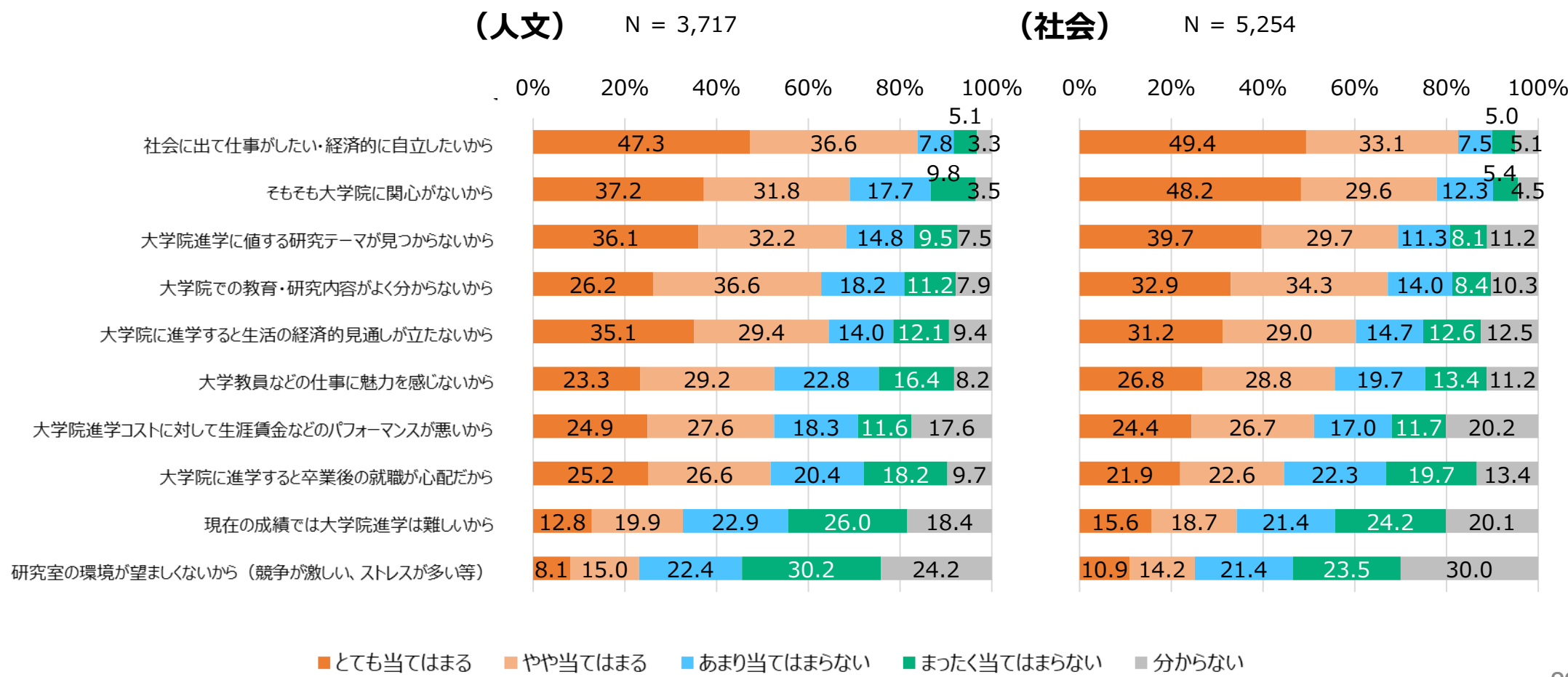
- 人文科学・社会科学系、理学・工学・農学系ともに、「社会に出て仕事がしたい・経済的に自立したいから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した学生の割合が高い。
- 人文科学・社会科学系では、「そもそも大学院に関心がない」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した学生の割合が74.2%であり、理学・工学・農学系の62.6%と比較してやや高い。
- 人文科学・社会科学系では、「大学院での教育・研究内容がよく分からないから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した学生の割合が65.4%であり、理学・工学・農学系の41.7%と比較して高くなっている。



【④-2 (続き) 進学するつもりはない、検討していないと回答した学生が回答】

大学院への進学を躊躇する理由・難点

- 人文科学系と社会科学系を比較すると、人文科学系では、「大学院に進学すると卒業後の就職が心配だから」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した学生の割合が51.8%であり、社会科学系の44.6%と比較してやや高い。
- 社会科学系では、「そもそも大学院に関心がない」に「とても当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した学生の割合が約77.9%であり、人文科学系の69.0%と比較してやや高い。

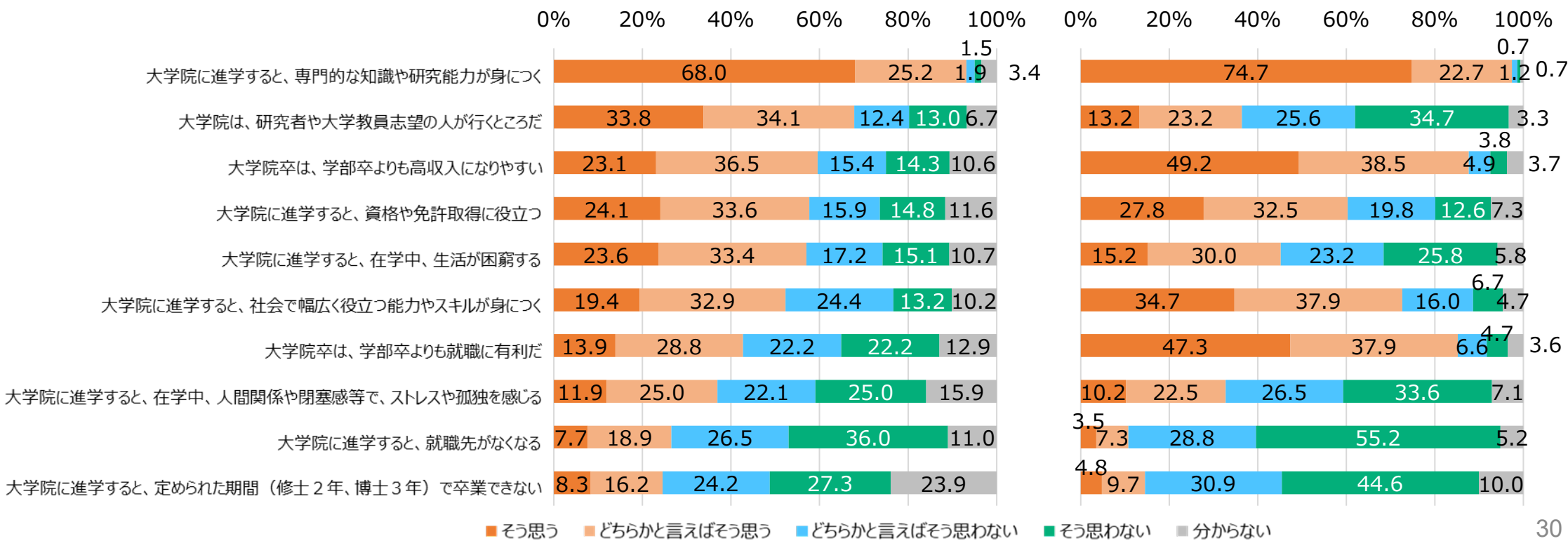


【全員が回答】

大学院や大学院での教育研究に関するイメージ

- 「大学院に進学すると、専門的な知識や研究能力が身につく」に「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と回答した学生の割合は、人文科学・社会科学系、理学・工学・農学系ともに9割を超えているが、「社会で幅広く役立つ能力やスキルが身につく」に「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と回答した学生の割合は、人文科学・社会科学系で52.3%と、理学・工学・農学系の72.6%と比較して低くなっている。
- 「大学院卒は、学部卒より高収入になりやすい」、「大学院卒は、学部卒よりも就職に有利だ」に「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と回答した学生の割合は、人文科学・社会科学系でそれぞれ59.6%、42.7%であり、理学・工学・農学系の87.6%、85.2%と比較して著しく低い。
- 人文科学・社会科学系では、「大学院は、研究者や大学教員志望の人が行くところだ」に「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と回答した学生の割合が67.9%であり、理学・工学・農学系の36.4%と比較して高くなっている。

(人文・社会) N = 13,173 (理工農) N = 2,792



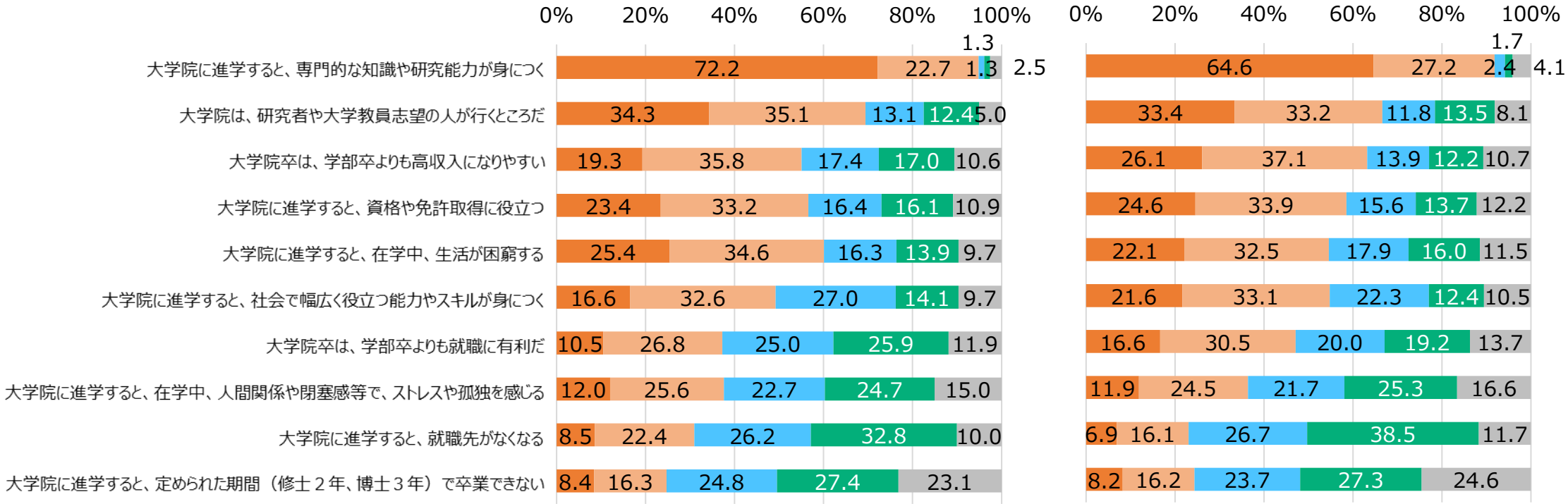
【全員が回答】

大学院や大学院での教育研究に関するイメージ

- 人文科学と社会科学系を比較すると、人文科学系において「大学院卒は、学部卒よりも就職に有利だ」、「高収入になりやすい」に「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と回答した学生の割合は、それぞれ37.2%、55.0%であり、社会科学系の47.1%、63.2%と比較してやや低い。
- 人文科学系では、「大学院に進学すると、就職先がなくなる」に「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と回答した学生の割合が31.0%であり、社会科学系の23.0%と比較してやや高い。

(人文) N = 5,850

(社会) N = 7,323



■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない

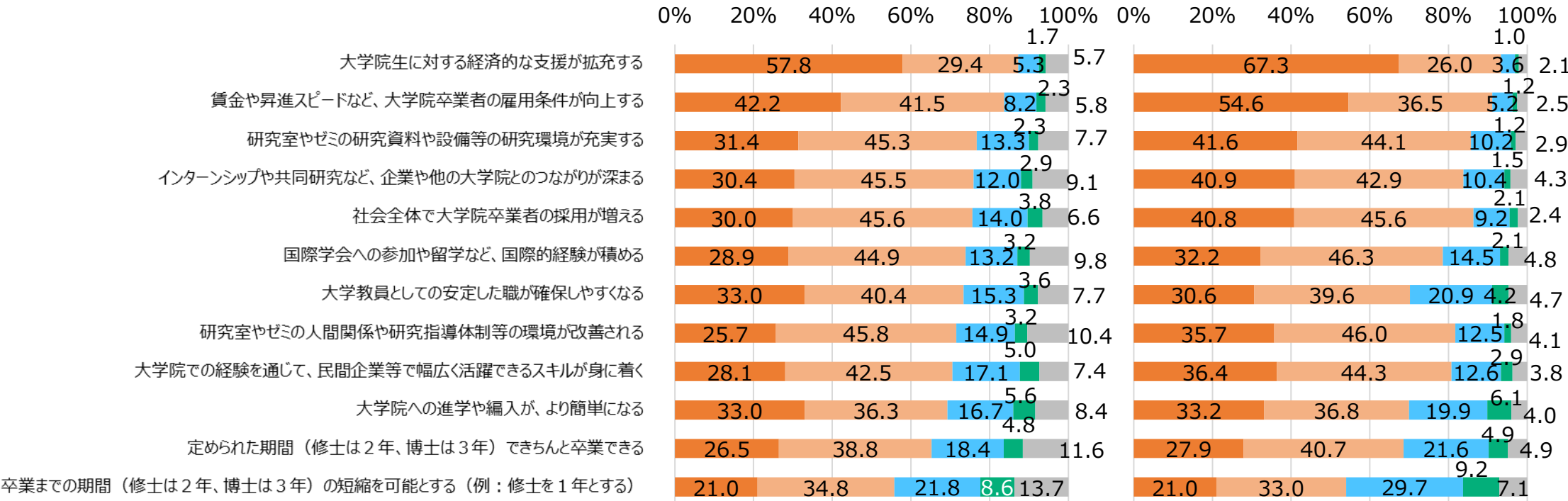
【全員が回答】

どのような取組があれば大学院進学者が増加すると思うか

- 特に「大きな効果があると思う」、「一定の効果があると思う」との回答が多いのは、「大学院生に対する経済的な支援が拡充する」、「賃金や昇進スピードなど、大学院卒業者の雇用条件が向上する」であり、人文科学・社会科学系、理学・工学・農学系ともに8割を超えている。

(人文・社会) N = 13,173

(理工農) N = 2,792

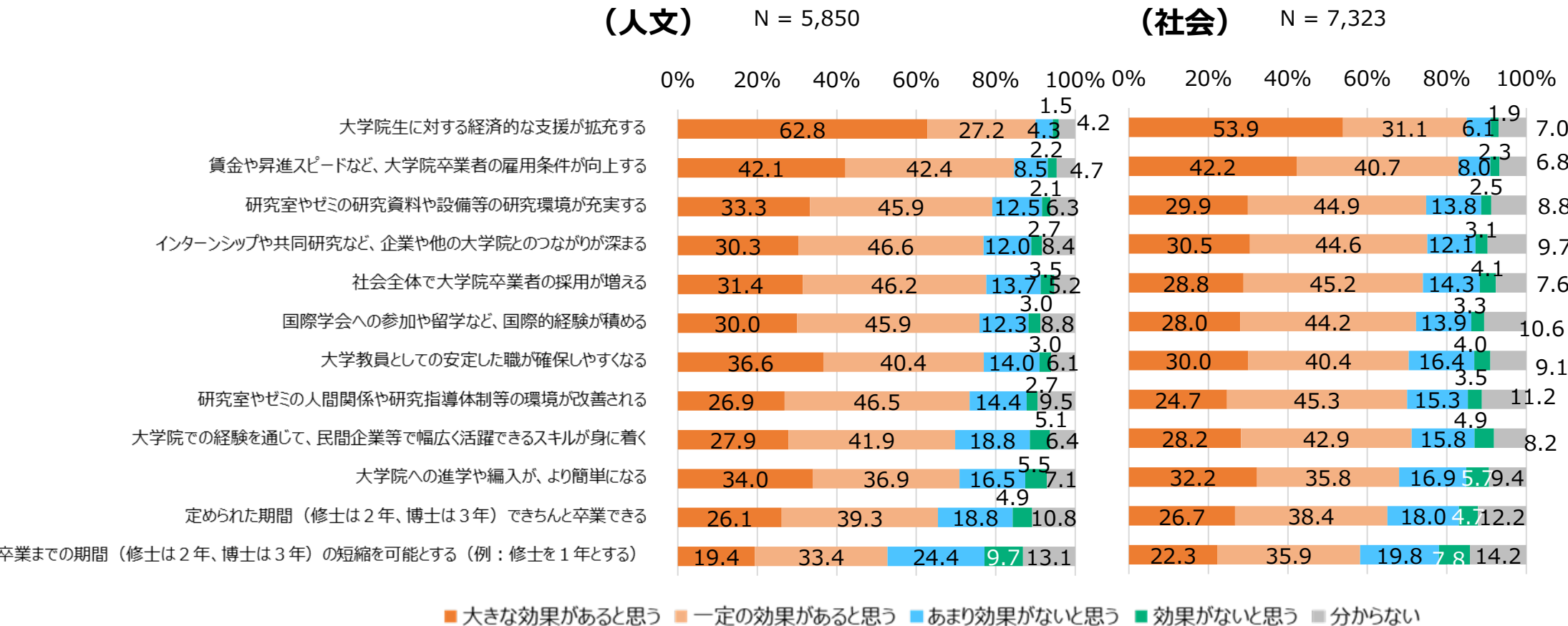


■ 大きな効果があると思う ■ 一定の効果があると思う ■ あまり効果がないと思う ■ 効果がないと思う ■ 分からない

【全員が回答】

どのような取組があれば大学院進学者が増加すると思うか

人文科学系と社会科学系を比較すると、回答の傾向に大きな差はない。

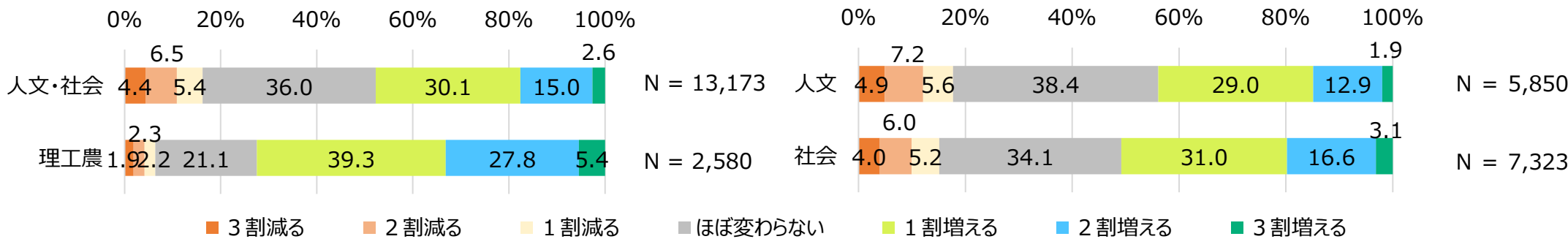


■ 大きな効果があると思う ■ 一定の効果があると思う ■ あまり効果がないと思う ■ 効果がないと思う ■ 分からない

【全員が回答】

大学院に進学すると、収入面でのメリットがあると思うか

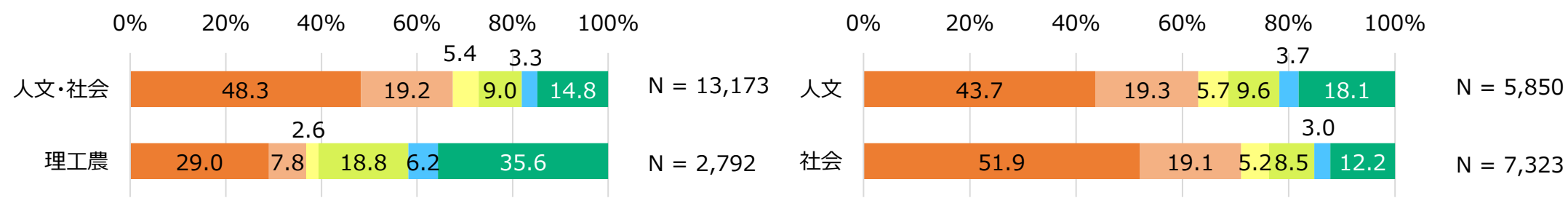
- 人文科学・社会科学系では、大学院に進学しても収入は「ほぼ変わらない」とイメージしている学生の割合が36.0%と最も高い。
- 収入が増えるイメージしている学生の割合は、人文科学・社会科学系で47.7%であり、理学・工学・農学系の72.5%と比較して低くなっている。



【全員が回答】

就職活動の状況

- 人文科学・社会科学系では、「既に何らかの職種にて内々定・内定を得ている」と回答した学生の割合が高い。
- 理学・工学・農学系では、「就職活動を行う予定はない」と回答した学生の割合が高い。



- 既に何らかの職種にて内々定・内定を得ている
- エントリーシートの提出や事前登録を行っている
- 就職活動を行うかどうか、決めていない

- 内々定・内定は出していないが、具体的な選考・試験が進んでいる
- 就職活動に向けた準備をしている、もしくはこれから準備する予定である
- 就職活動を行う予定はない